

草津PAと連携した 滋賀県南部エリア活性化基本構想 参考資料

1. 対象エリアとまちづくりの目標(上位・関連計画)
2. 現状(ポテンシャル)
3. 現状(問題点)
4. 市民の認知・利用状況
5. 機能のニーズ・アイデア

1. 対象エリアとまちづくりの目標(上位計画)

◇対象エリア



1. 対象エリアとまちづくりの目標(上位計画)

◇南草津エリアまちづくり推進ビジョン(令和3年10月草津市策定)

○目標

- 1 大学・企業・地域の活力が持続的にあふれだすまち
- 2 誰もが豊かな環境と利便性を享受し安全・安心に住み続けられるまち
- 3 充実した都市空間・交通環境で多様な交流が生まれるにぎわいのあるまち

○基本方針

1. 活力 大学や企業等の立地集積を生かした産官学連携による魅力あるまちづくりの推進
2. 住環境 豊かな地域資源を生かした安全で快適な住環境の形成と地域主体によるまちづくりの推進
3. 交流 JR 南草津駅周辺やびわこ文化公園都市周辺における拠点性の強化と適切な都市機能の配置の推進

1. 対象エリアとまちづくりの目標(上位計画)

◇びわこ文化公園都市将来ビジョン(令和5年3月策定)

○将来像

- 1 県内外の人々が交流する場
- 2 文化・芸術を創造する場
- 3 持続可能な社会へ挑戦する場
- 4 歴史と暮らしを紡ぐ場
- 5 いのちと健康を支える場
- 6 コミュニティを育む場

○プラットフォーム

移動の自由：誰もが「行きたい場所へ」「行きたい時に」「自由に移動」できるエリア

モビリティ・マネジメントの取組を推進するエリア

理解の共有：知りたい情報へ容易にアクセスでき、瞬時に情報を共有・利活用できるエリア

ICT・データ利活用を推進し、誰もが情報を発信・共有・利活用できるエリア

2. 現状(ポテンシャル)

(1)にぎわい・活力

◇広域的な公共施設が多数立地している



びわこ文化公園都市内の施設と1日あたりの利用者(学生数)

①県立アイスアリーナ	240	⑩日赤滋賀県赤十字センター	55	⑲草津養護学校	650
②龍谷大学瀬田キャンパス	4,000	⑪県立長寿社会福祉センター	224	⑳むれやま荘	—
③びわこ文化公園	—	⑫福祉用具センター	—	㉑滋賀県医療福祉相談モール	—
④県立美術館	494	⑬滋賀県薬剤師会	—	㉒県立障害者福祉センター	267
⑤県立図書館	800	⑭中央子ども家庭相談センター	—	㉓メイプル滋賀工場	41
⑥県埋蔵文化財センター	10	⑮滋賀県歯科医師会(口腔衛生センター)	—	㉔京大大学生態学研究センター	60
⑦県立東大津高校	1,120	⑯びわこ学園医療福祉センター草津	450	㉕立命館大学びわこ・くさつキャンパス	15,400
⑧滋賀医科大学	2,366	⑰精神保健福祉センター	—	㉖滋賀ダイハツアリーナ(R4.12竣工)	—
⑨滋賀医科大学附属病院	—	⑱精神医療センター	100		

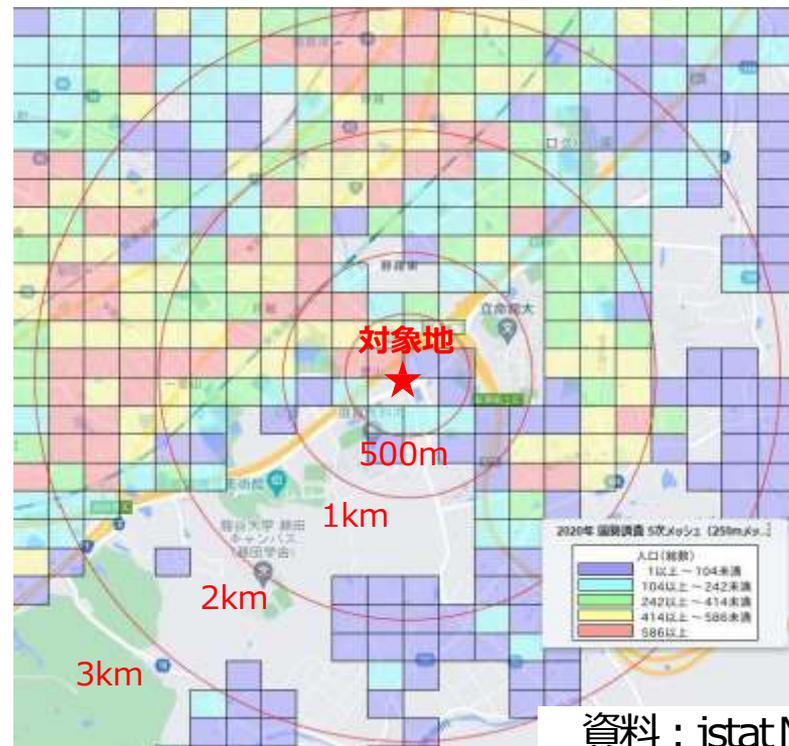
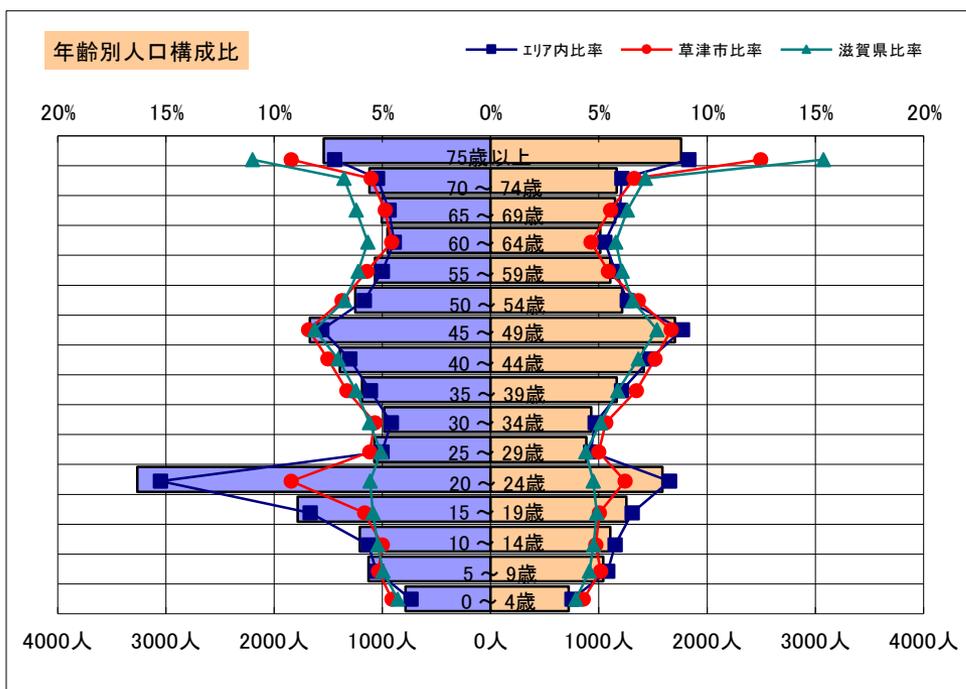
2. 現状(ポテンシャル)

(1) にぎわい・活力

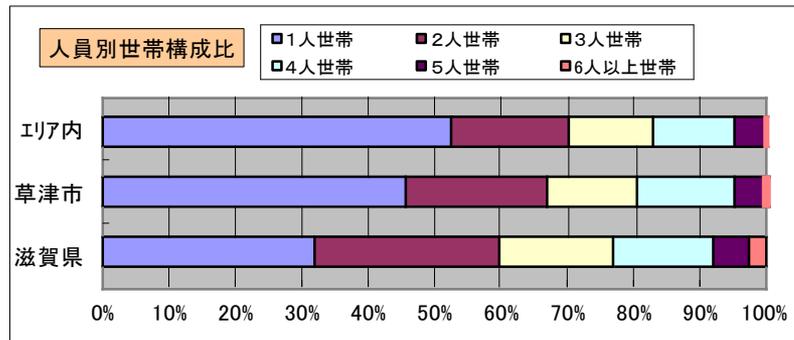
◇対象地2km圏に約4.5万人が居住

- ・対象地周辺は、名神高速道路北側、および東側の松が丘・青山地区の人口が多くなっている
- ・大学が多く立地するため、人口構成は20~24歳男性(約3000人)が最も多くなっており、世帯構成も1人世帯が半数以上を占める。

▼対象地2km圏の年齢別構成比 (2020年)



▼対象地2km圏、草津市、滋賀県の世帯人員



2. 現状(ポテンシャル)

(1)にぎわい・活力

◇立命館・龍谷・滋賀医科の3大学12学部が立地し、2万人以上が在籍

- ・びわこ文化公園都市内には、立命館大学びわこ・くさつキャンパス（BKC）、龍谷大学瀬田キャンパス、滋賀医科大学が立地。
- ・3大学の学部は医、理工、情報、経済、社会、スポーツ等の多様な学部が存在。

▼びわこ都市に立地する大学と学部構成

名称	国立大学法人 滋賀医科大学			龍谷大学（瀬田キャンパス）			立命館大学（びわこ・くさつキャンパス）				
学部／ 学生数（名）	医学部	医学科	682	大学	理工学部	642	大学	経済学部	3229		
		看護学科	240		社会学部	2,276		理工学部	3933		
		大学院	博士課程		170	農学部		1,768	情報理工学部	1970	
	修士課程		44		先端理工学部	1,715		薬学部	823		
	合計		1,136		計	6,401		生命科学部	1252		
	資料：各大学HP	大学院	社会学研究科		37	大学院		社会学研究科	37	大学院	スポーツ健康科学部
			理工学研究科	182	理工学研究科		182	食マネジメント学部	1238		
			農学研究科	60	農学研究科		60	計	13,436		
			計	279	計		279	経済学研究科	102		
		合計		6,680	合計	6,680	理工学研究科	960	大学院	スポーツ健康科学研究科	111
		資料：各大学HP	大学院	合計	6,680	大学院	合計	6,680		大学院	情報理工学研究科
	薬学研究科										79
生命科学研究科	291										
食マネジメント研究科	20										
計	2,001										
合計		15,437	合計	15,437							

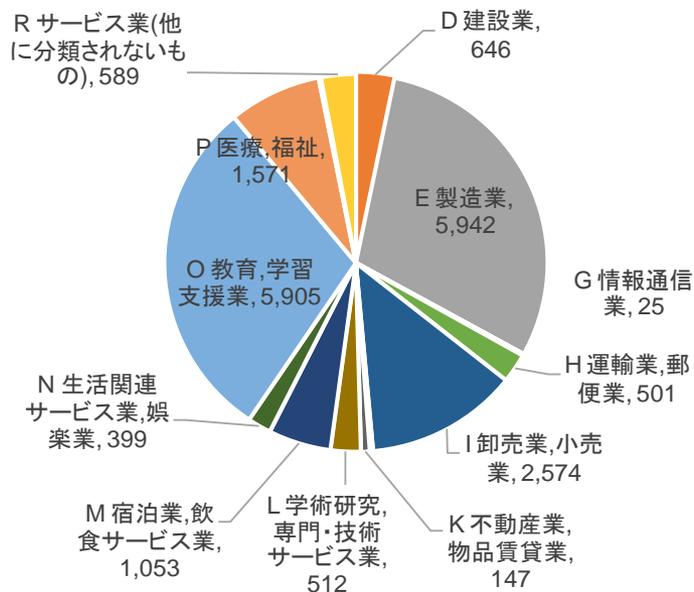
2. 現状(ポテンシャル)

(1)にぎわい・活力

◇製造・物流をはじめ多様な業種の企業が集積

- ・びわこ文化公園都市内には15を超える企業が存在。
- ・半径2 km圏内で約2万人が従業しており、工場や大学の立地から、製造業や教育・学習支援業の従業者が多くなっている。

▼対象地2km圏の従業者数 (2016年)



資料 : jstat MAP

▼びわこ都市・周辺の立地企業

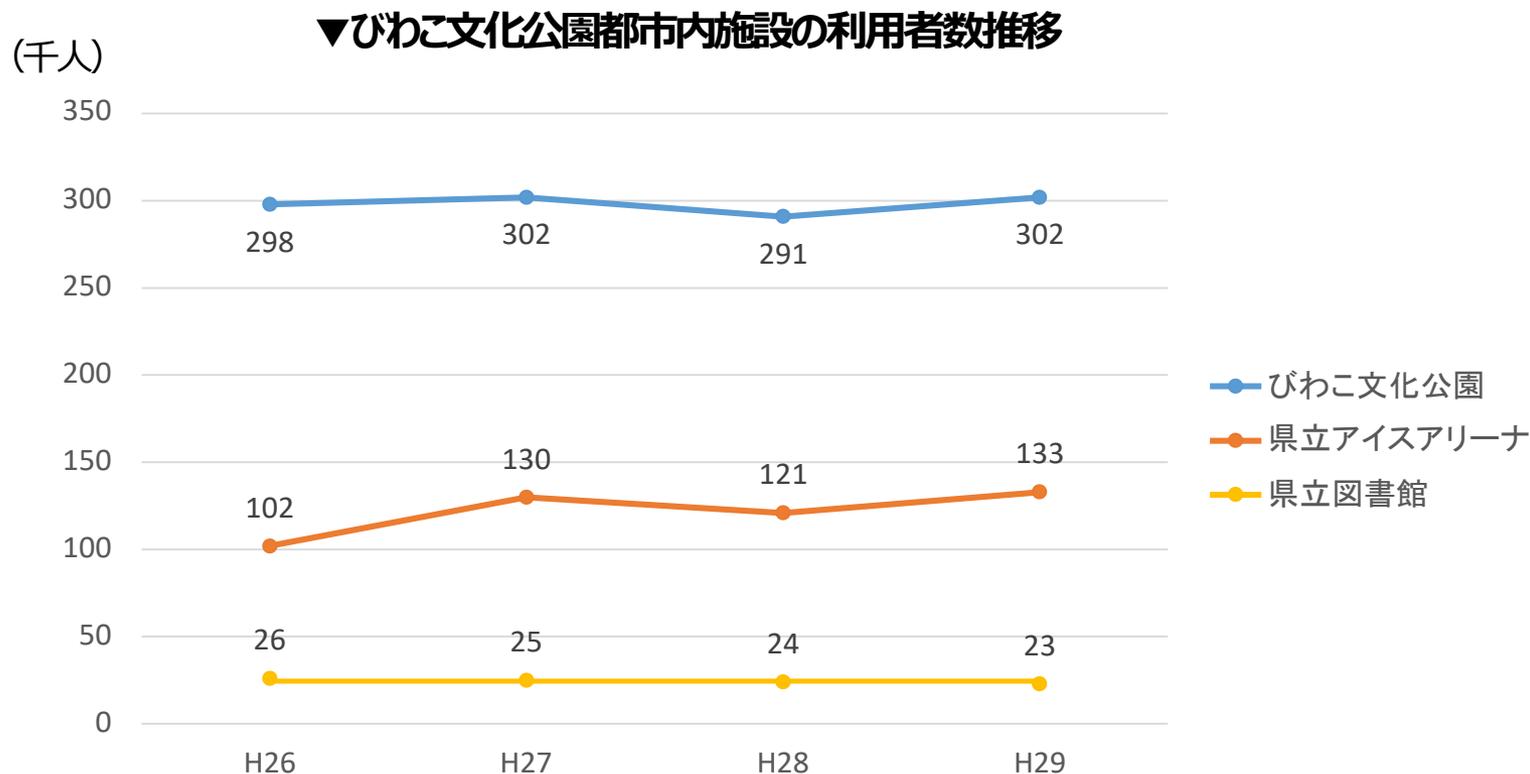
	名称	業種
びわこ文化公園都市内	株式会社ジーエス・ユアサ・テクノロジー 草津事業所	製造
	パイン株式会社 滋賀工場	食品製造
	犀工房	製造
	株式会社中村組 本店	物流
	江洲運輸株式会社	運送
	フジヤマジャパン	産業用機器製造
	サイチ工業 大津事業部 大津工場	製造
	株式会社 聖建	建設
	伏見運送 滋賀支店	運送
	三陽輸送 上田上流通ターミナル	運輸サービス
	増田運送 田上車庫	運送
	草津倉庫 大津営業所	倉庫
	エスフーズ 京滋営業所	食肉卸売
	メカテック 田上事業所 (NEXUS)	電子機器製造
	新井製作所 松が丘工場	製造
株式会社T'sCRAFT (本社)	製造	
株式会社 協立工業所	産業用機器製造	
周辺	パナソニック株式会社くらしアプライアンス社	製造
	パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社 草津工場	製造
	パーソルファクトリーパートナーズ(株)草津事業所	人材派遣
	住友建機販売株式会社	製造
	株式会社 探索医療機器開発	医療機器販売
	株式会社 拓伸	不動産
	新学社 草津物流センター	倉庫
	ダイキン工業 滋賀製作所	製造
	サンスター 技研 滋賀工場	金属加工
	住友精密工業 滋賀工場	機械加工製造
	第一工流 草津営業所	物流
	日本トーカンパッケージ 滋賀工場	製造

2. 現状(ポテンシャル)

(1)にぎわい・活力

◇びわこ文化公園には年間約30万人が訪れる

・びわこ文化公園は年間約30万人、県立アイスアリーナは約13万人、県立図書館は約2万人が利用。



資料：草津PAと連携した交通拠点基礎調査（H30）、滋賀県立アイスアリーナ長寿命化計画、滋賀県立図書館事業概要

2. 現状(ポテンシャル)

(2)安全・安心・防災

◇滋賀医科大学附属病院をはじめ、**800床を超える病床と多数の診療科が存在している**

・びわこ文化公園都市内には、滋賀医大附属病院（603床、31診療科）をはじめ、びわこ学園福祉センター草津（6診療科、126床）、滋賀県立精神医療センター（7診療科、123床）が存在。

▼びわこ都市に立地する病院と診療科、病床数

名称	滋賀医科大学医学部附属病院				びわこ学園医療福祉センター草津				滋賀県立精神医療センター			
病床数	603床				126床				123床			
診療科	循環器内科	呼吸器内科	消化器内科	血液内科	小児科	神経科	内科	歯科	精神科	心療内科	内科	神経内科
	糖尿病内分泌内科	腎臓内科	脳神経内科	腫瘍内科	精神科	リハビリテーション科			アルコール依存症	ギャンブル依存症		
	小児科	精神科	皮膚科	消化器外科					薬物依存症			
	乳腺・小児・一般外科	形成外科	心臓血管外科	呼吸器外科	病院形態をとり児童福祉法に基づく医療型障害児入所施設、障害者総合支援法に基づく療養介護事業所							
	整形外科	脳神経外科	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	母子診療科								
	女性診療科	泌尿器科	眼科	麻酔科								
	ペインクリニック科	放射線科	歯科口腔外科	リハビリテーション科								
	臨床遺伝相談科	病理診断科	救急科									
生活習慣病センター	禁煙外来	漢方外来	リンパ浮腫外来（セルフケア支援外来）									
フットケア外来	排泄機能ケア外来	ストーマ外来	看護相談									
院内助産所・助産師外来	睡眠センター	もの忘れ外来	妊娠と薬外来									
がん看護外来												
専門外来												

資料：各施設HP

2. 現状(ポテンシャル)

(2)安全・安心・防災

◇エリア周辺には多様な福祉施設が集積

▼び文都市・周辺に立地する福祉施設

	名 称	業種
びわこ文化公園都市内	社会福祉法人びわこ学園 重症心身障害者通所施設ピアーズ	障害者向けサービス & 支援組織
	滋賀県立むれやま荘	協会/組織
	ラベンダー 社会福祉法人笑生会 生活介護施設	NPO法人
	特別養護老人ホーム アシタバ	介護施設
	社会福祉法人近江笑生会 特別養護老人ホーム南天	老人ホーム
	社会福祉法人びわこ学園 ケアホームともる	グループホーム
	社会福祉法人メイプル	障害者向けサービス & 支援組織
	滋賀県医療福祉相談モール	県
	(財) 滋賀県身体障害者福祉協会	障害者向けサービス & 支援組織
	滋賀県立長寿社会福祉センター	社会福祉センター
周辺	一般社団法人 滋賀県介護福祉士会	協会/組織
	デイサービス栗林の郷	介護施設
	ガル・デイサービスセンター 一里山	デイケアサービス
	地域生活サポートセンター・じゅぷ	介護施設
	有料老人ホーム エスケア ザ グランド草津	介護施設
	特別養護老人ホーム 萩の里	老人ホーム
	特別養護老人ホーム 第二菖蒲の郷	高齢者専用住宅
就労移行支援/就労継続B型 多機能型事業所めぶき福祉会 さくら	障害者向けサービス & 支援組織	

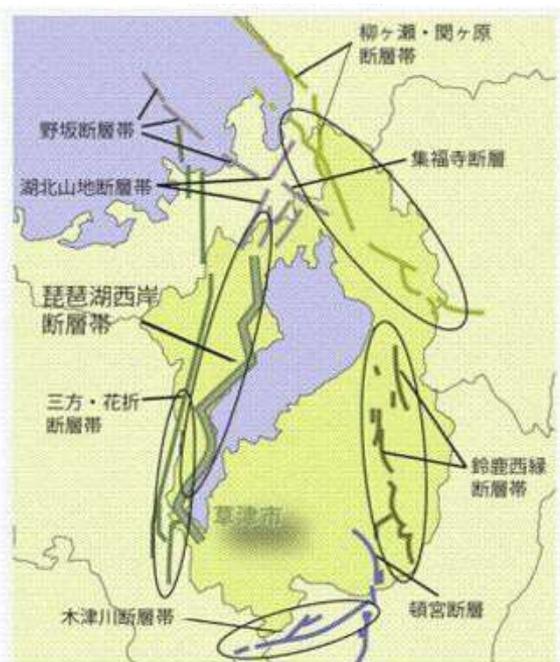
2. 現状(ポテンシャル)

(2)安全・安心・防災

◇相対的に災害リスクが低いエリアである

- ・県内には琵琶湖西岸断層帯等の複数の活断層が存在し、地震災害をもたらす危険性を有するが、草津市は相対的には活断層が少ない。
- ・草津市内では、琵琶湖沿岸、中心市街地を中心に大雨時の浸水想定区域が存在するが、草津PA周辺は、国道1号沿道やJR琵琶湖線沿線と比較して浸水リスクが低い。

▼活断層分布図



▼浸水リスク



資料：草津市都市計画マスタープラン、草津市ハザードマップ

2. 現状(ポテンシャル)

(2)安全・安心・防災

◇道路ネットワーク結節点に近接していることから、救援活動や物資輸送等、災害時対応の拠点となり得る

・計画地周辺には、名神高速道路や新名神高速道路、京滋バイパス、山手幹線等の広域道路網が多数存在し、今後も新名神高速道路や山手幹線の延伸によりさらに充実する見込み。



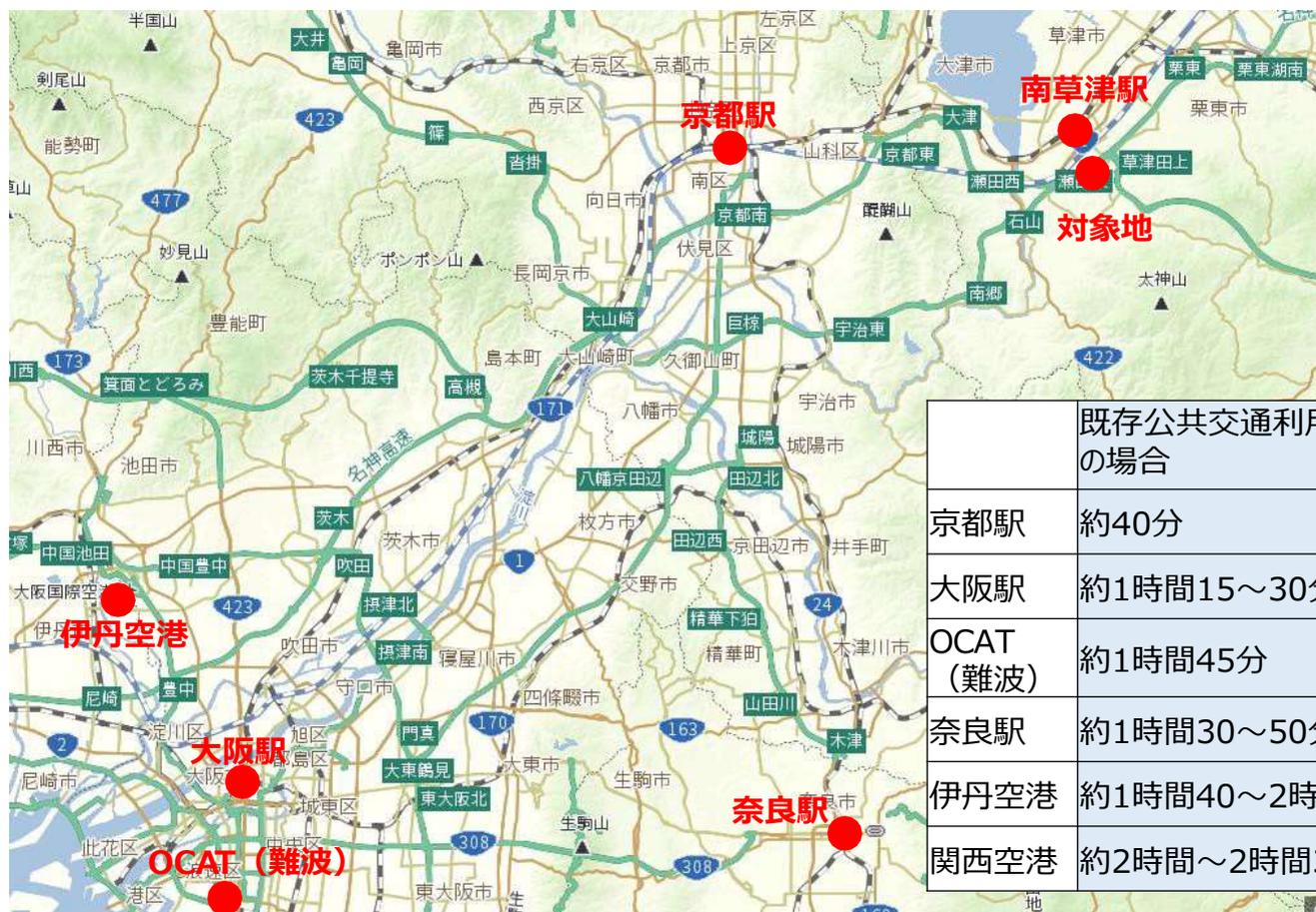
資料：草津PAと連携したハイウェイ交通拠点基礎調査業務報告書（H30）

2. 現状(ポテンシャル)

(3) 交通・交流

◇大阪からは1時間半弱、京都からは40分程度の距離にある

・草津PAから高速道路を利用した場合、対象地までの所要時間は、京都駅や大阪駅からは場合によって公共交通利用と同等の可能性があるが、難波、奈良、伊丹・関西空港からは公共交通利用より短い。



2. 現状(ポテンシャル)

(3) 交通・交流

◇名古屋からは1時間半程度の距離にある

・草津PAから高速道路を利用した場合、北陸・中京から対象地までの所要時間は、特に中京圏で公共交通利用より短い。



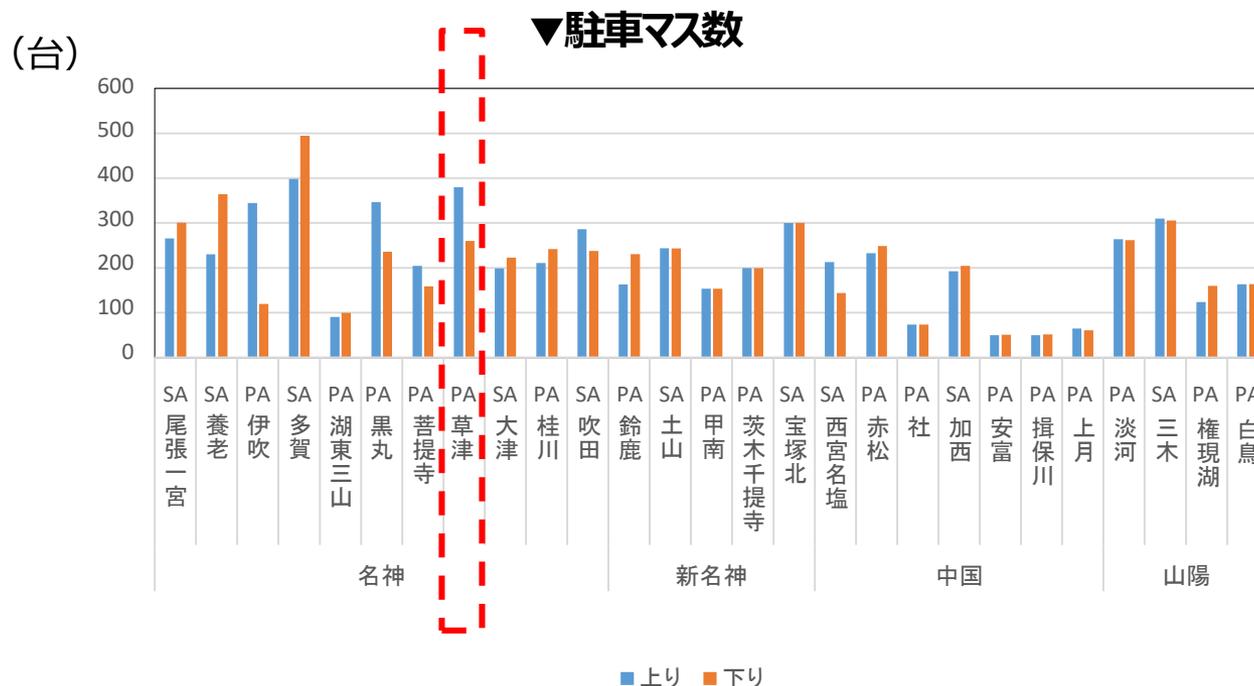
	既存公共交通利用の場合	草津PAまで高速バスの場合
名古屋駅	約1時間30～50分	約1時間15～30分
栄BT	約2時間	約1時間15～30分
中部空港	約2時間30分	約1時間30分
津駅	約2時間30～50分	約1時間
岐阜駅	約2時間10～20分	約1時間40分
福井駅	約2時間20～30分	約2時間
金沢駅	約3時間10～20分	約3時間

2. 現状(ポテンシャル)

(3) 交通・交流

◇名神高速は約12万台/日の交通量があり、草津PA下り線の駐車マス数は229台

- ・名神高速草津JCT～瀬田東JCT間の利用台数は約12.3万台/日（2019年度）。
- ・草津PAは区間内で有数の駐車マス数を誇るPAで、SAを含めても上位となっており、名神高速道路で有数の大規模な高速道路上の休憩施設と言える。



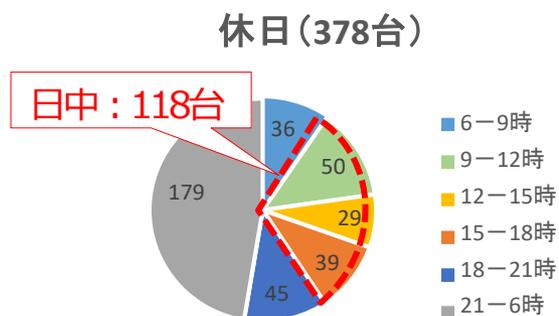
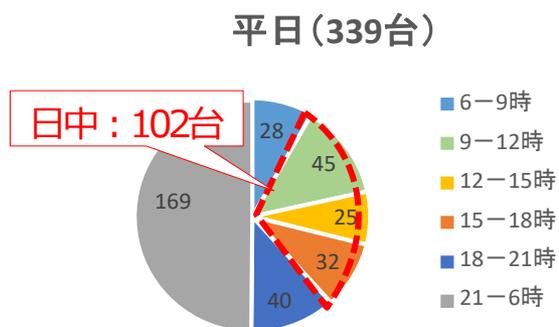
資料：滋賀県HP、H30草津PAと連携したハイウェイ交通拠点基礎調査業務

2. 現状(ポテンシャル)

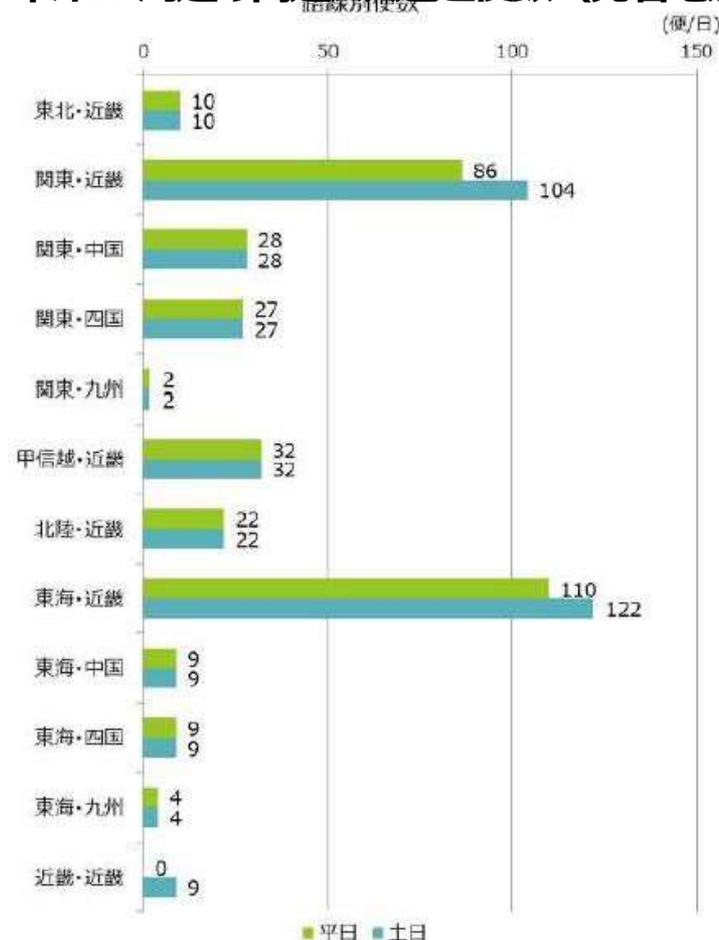
(3) 交通・交流

◇草津PAには平日300台以上、休日350台以上の高速バスが通過している

▼草津PA周辺の高速バス通過台数(時間帯別)



▼草津PA周辺の高速バス通過便数(発着地別)



資料: 草津PAと連携した交通拠点基礎調査(H30)

3. 現状(問題点)

(1)にぎわい・活力

◇飲食・物販等の立ち寄り施設や、利便施設、交流施設が少ない

- ・商業施設を中心とした日常生活に必要な機能はJ R沿線や琵琶湖岸南部（近江大橋周辺）に立地している。
- ・南部エリアに立地する機能は大学や拠点医療施設など、広域的な機能が中心であり、市民が日常的に利用できる交流施設等や、宿泊施設や飲食店は周辺には少ない。



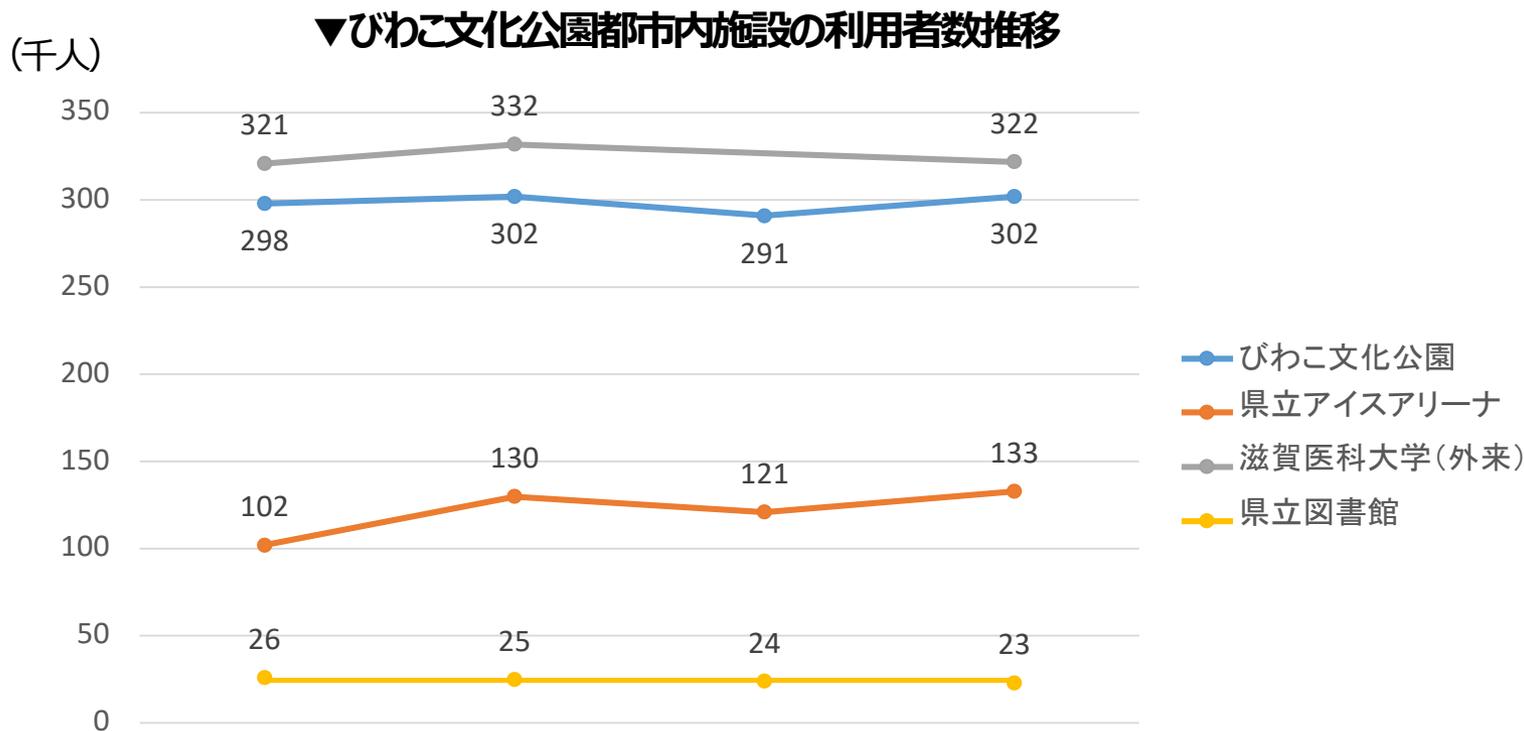
資料：草津市地域公共交通網形成計画、NAVITIME施設検索

3. 現状(問題点)

(1)にぎわい・活力

◇広域的な公共施設が多数立地しているが、利用者数は伸び悩んでいる

・県立アイスアリーナを除き、びわこ文化公園都市内の施設の利用者数は黄ばいまたは減少傾向にある。



資料：草津PAと連携した交通拠点基礎調査¹²(⁸H30)、滋賀県立アイスアリーナ長寿命化計画

3. 現状(問題点)

(2) 安全・安心・防災

◇病院や福祉施設等、防災施設と連携できる機能は多数立地しており、避難者や広域支援部隊の受け入れ機能への要請に対応できている

- ・草津PA（下り）は国土交通省が指定する「防災拠点自動車駐車場」に位置付けられている（令和4年3月）。
- ・滋賀医科大学病院は災害拠点病院に指定されている。
- ・一方で、避難者や広域支援部隊の応急受け入れ機能はない状況。

▼都市機能の立地状況



▼災害拠点病院・医療搬送拠点一覧

■災害拠点病院一覧（平成30年4月1日現在）

種別	保健医療圏	医療機関名	指定年月日
基幹災害拠点病院	県全域	大津赤十字病院	平成9年1月20日
	大津	市立大津市民病院	平成9年1月20日
地域災害拠点病院	大津	滋賀医科大学医学部附属病院	平成22年3月5日
		草津総合病院	平成18年4月28日
	湖南	済生会滋賀泉病院	平成9年1月20日
	甲賀	公立甲賀病院	平成21年8月11日
	東近江	近江八幡市立総合医療センター	平成9年1月20日
	湖東	彦根市立病院	平成9年1月20日
	湖北	長浜赤十字病院	平成9年1月20日
	湖西	高島市民病院	平成21年8月11日

■医療搬送拠点一覧（平成30年4月1日現在）

SCU名称	担当医療機関
滋賀県立大学	彦根市立病院
滋賀医科大学	滋賀医科大学医学部附属病院
高島市民病院	高島市民病院

資料：草津市地域公共交通網形成計画、龍谷大学

3. 現状(問題点)

(2)安全・安心・防災

◇災害等、JR不通時に代替の公共交通手段がない

・滋賀県南部では土山BSを除き京阪神方面の高速バスは停車せず、JR琵琶湖線沿線において代替として利用できる手段はない状況である。

▼高速バス本数

		南草津駅	草津駅	大津駅	土山BS	びわこ文化公園
大阪・京都方面	出発・到着	なし	なし	なし	14便 (京都市)	なし
東京方面	出発	3便	14便	1便	14便 (三重方面)	なし
	到着	1便	12便	1便		なし

3. 現状(問題点)

(3) 交通・交流

- ◇ 朝夕を中心に国道1号や南草津駅周辺の渋滞が慢性化し、エリアに居住する周辺都市(大津市等)への通勤・従業者によるマイカー通勤に影響を与えている

■ ETC2.0を活用した交通分析

検証項目	分析内容
• 朝夕のピーク時間帯に速度低下が面的に発生している	1) 速度図+主要渋滞箇所の重ね図
• 渋滞している箇所を通過する交通はエリアに関する交通が多い	2) 断面交通の経路図 3) 断面交通の発着地分布図 4) 断面交通の内訳OD
• エリアへのアクセスにおいて、定時性が損なわれている	5) 断面交通の内、当該エリア発着交通のサンプル別所要時間

3. 現状(問題点)

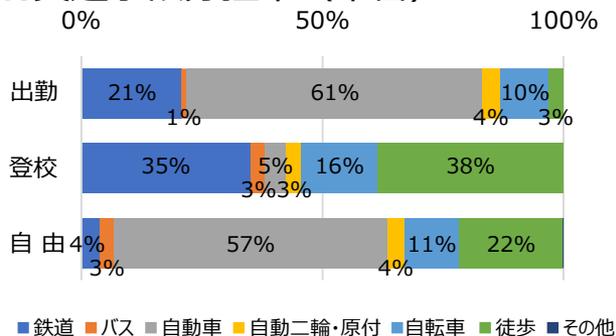
(3) 交通・交流

◇ 朝夕を中心に国道1号や南草津駅周辺の渋滞が慢性化し、エリアに居住する周辺都市(大津市等)への通勤・従業者によるマイカー通勤に影響を与えている

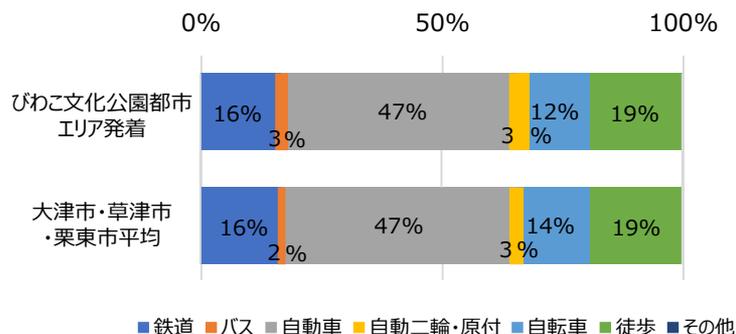
<検証項目> びわこ都市エリアにおける自動車依存状況、エリアからの人の出入り(平日)

・びわこ文化公園都市周辺エリアに関連する交通の多くが草津市内及び大津市内となっており、出勤・自由目的では自動車利用が突出して高い。

■ 目的別交通手段分担率(平日)



《全目的での周辺都市との比較》



3. 現状(問題点)

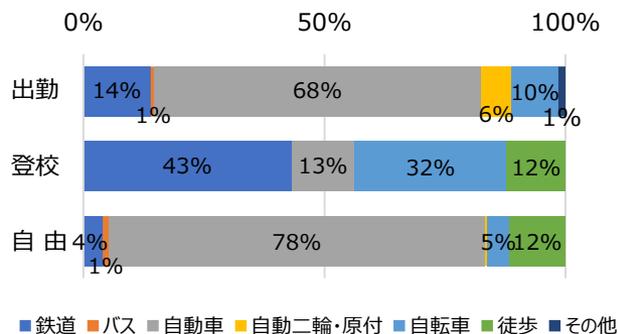
(3) 交通・交流

◇ 朝夕を中心に国道1号や南草津駅周辺の渋滞が慢性化し、エリアに居住する周辺都市(大津市等)への通勤・従業者によるマイカー通勤に影響を与えている

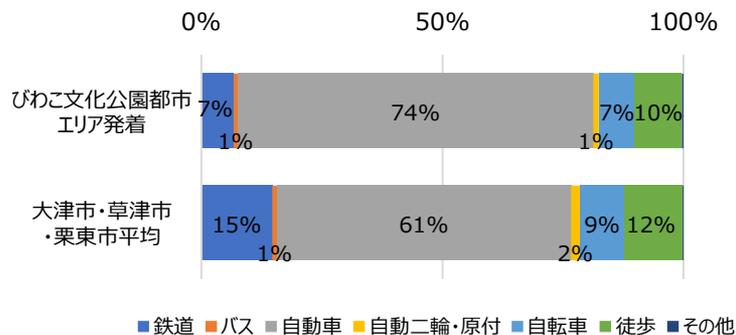
<検証項目> び文都市エリアにおける自動車依存状況、エリアからの人の出入り(休日)

・平日と同様に草津市・大津市に関連する交通が多く、また、自動車利用が突出して高い。

■ 目的別交通手段分担率(休日)



《全目的での周辺都市との比較》



3. 現状(問題点)

(3) 交通・交流

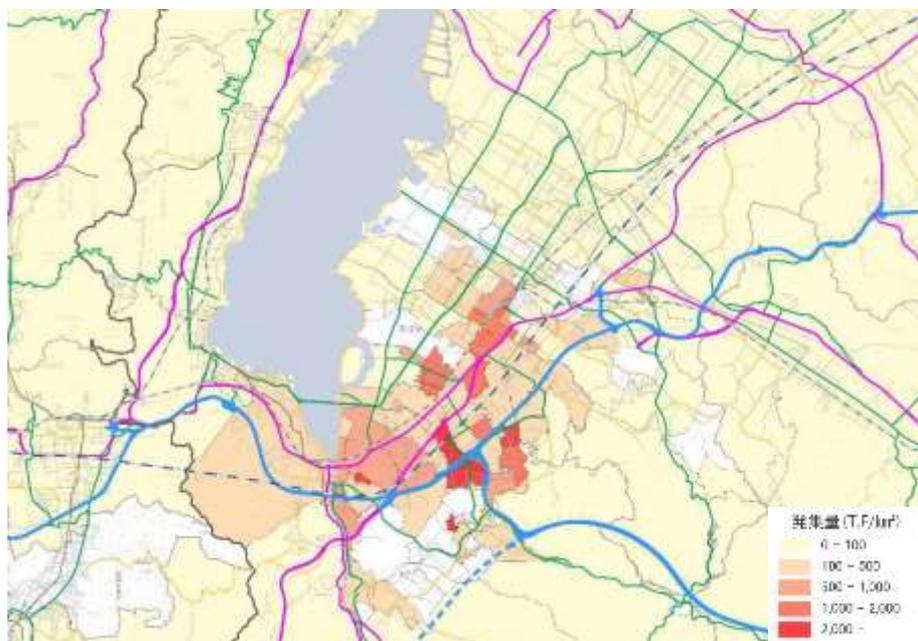
◇ 朝夕を中心に国道1号や南草津駅周辺の渋滞が慢性化し、エリアに居住する周辺都市(大津市等)への通勤・従業者によるマイカー通勤に影響を与えている

<検証項目> び文公園周辺は自動車利用が高い

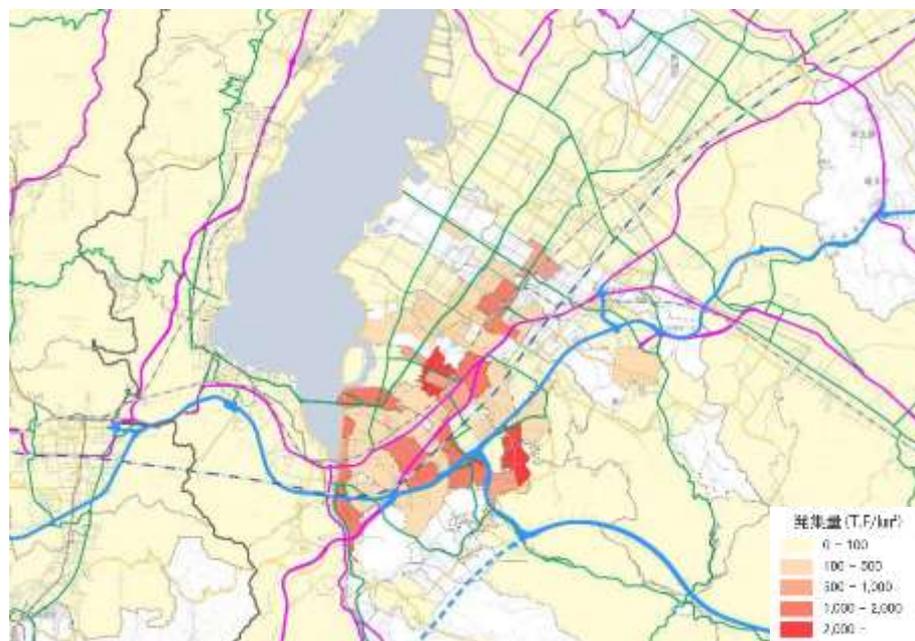
・自動車の発生集中箇所を詳細に確認すると、国道1号を中心に、草津市内及び大津市南部地域において発生集中量が多くなっている。

■ 郵便番号ゾーン別のび文公園周辺関連自動車発生集中量

《平日》



《休日》



3. 現状(問題点)

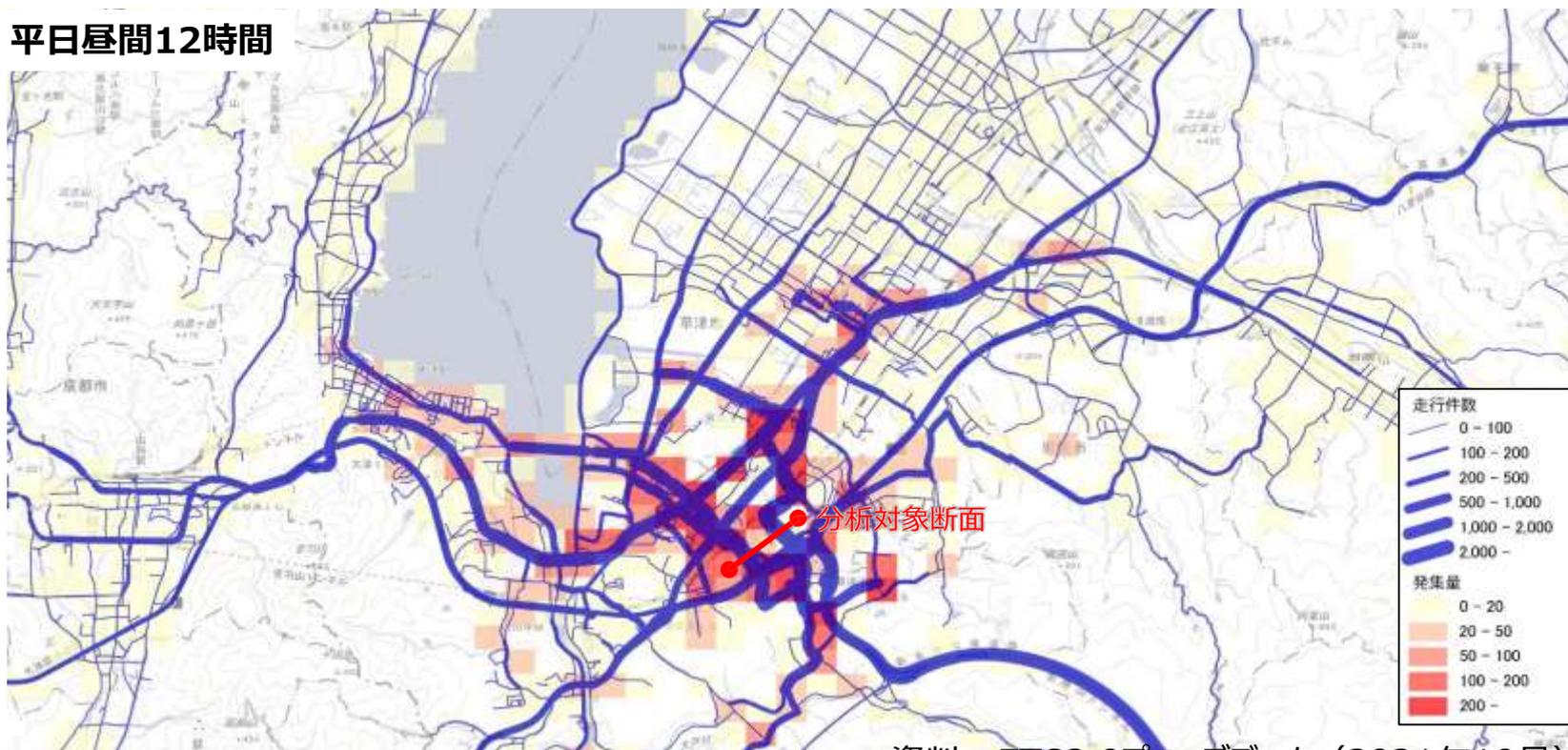
(3) 交通・交流

- ◇ 朝夕を中心に国道1号や南草津駅周辺の渋滞が慢性化し、エリアに居住する周辺都市(大津市等)への通勤・従業者によるマイカー通勤に影響を与えている

<検証項目> 渋滞している箇所を通過する交通はエリアに関係する交通が多い(平日)

- ・対象エリアへのアクセス道路を通過する交通の経路及び発生集中場所をみると、国道1号利用が多いことが確認できる。

平日昼間12時間



資料：ETC2.0プローブデータ(2021年10月)

3. 現状(問題点)

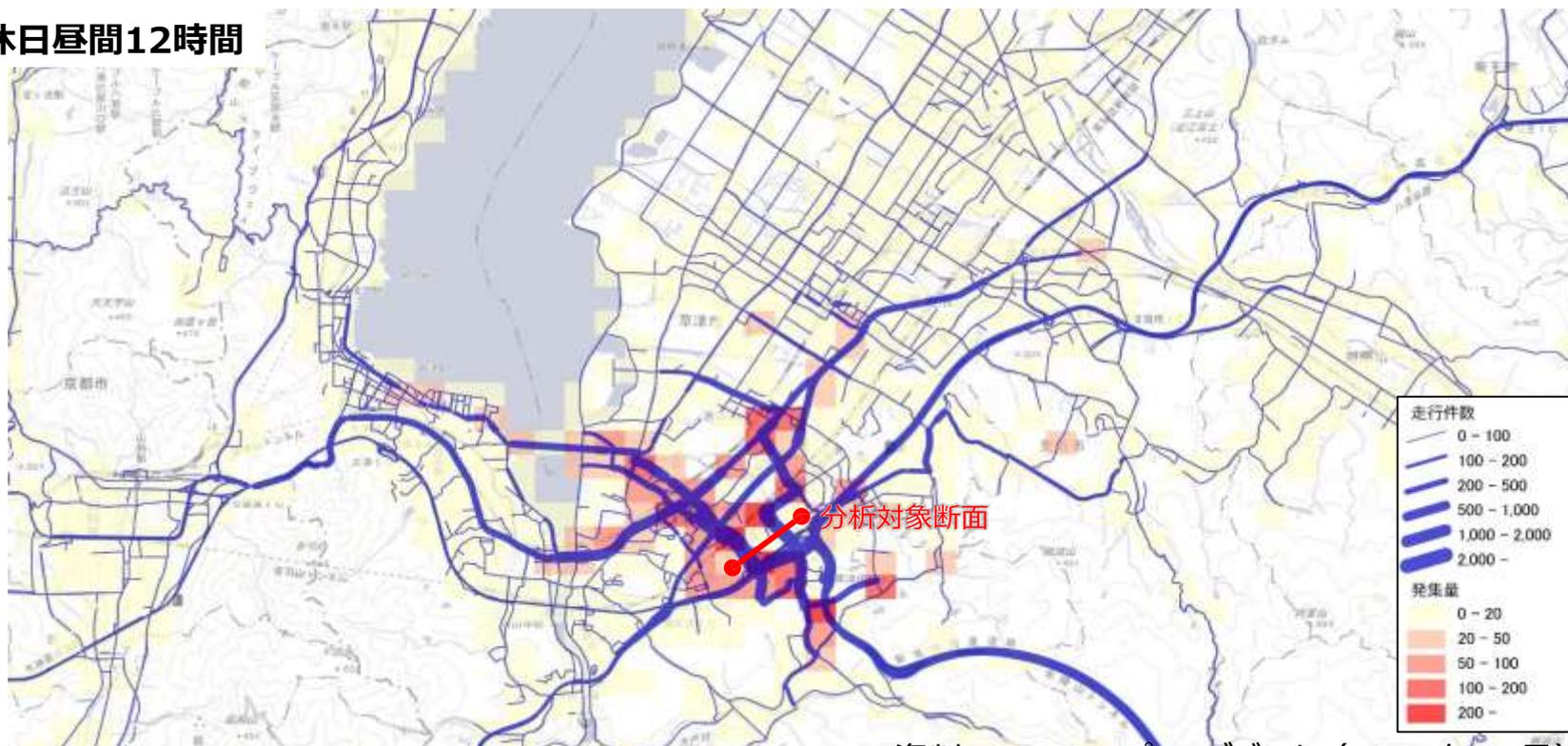
(3) 交通・交流

◇ 朝夕を中心に国道1号や南草津駅周辺の渋滞が慢性化し、エリアに居住する周辺都市(大津市等)への通勤・従業者によるマイカー通勤に影響を与えている

<検証項目> 渋滞している箇所を通過する交通はエリアに関係する交通が多い(休日)

・休日の利用エリアは平日よりも狭くなっており、瀬田川東側にとどまっているものの、国道1号利用が多い。

休日昼間12時間



資料：ETC2.0プローブデータ(2021年10月)

3. 現状(問題点)

(3) 交通・交流

◇ 朝夕を中心に国道1号や南草津駅周辺の渋滞が慢性化し、エリアに居住する周辺都市(大津市等)への通勤・従業者によるマイカー通勤に影響を与えている

・南草津駅周辺を含む草津エリアにおいては、**11か所の主要渋滞箇所**と**6か所の主要渋滞区間**が存在している。

資料：
滋賀県国道事務所HP
『滋賀の主要渋滞箇所』より



3. 現状(問題点)

(3) 交通・交流

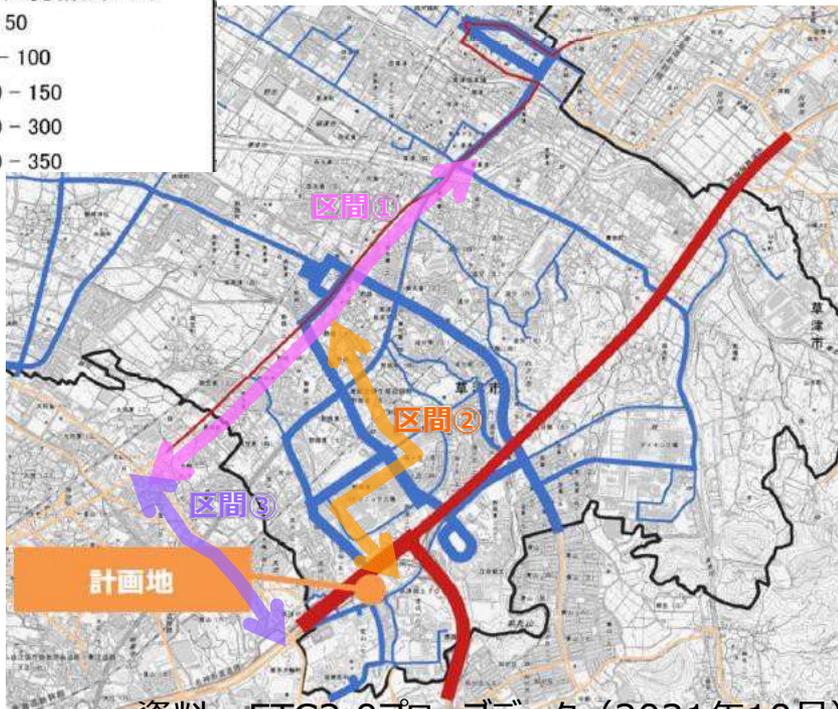
◇朝夕を中心に道路渋滞によりバスの**定時性が損なわれ**、サービス水準の低下が生じている

<検証項目> び文都市エリアへのアクセスにおいて、定時性が損なわれている(平日)

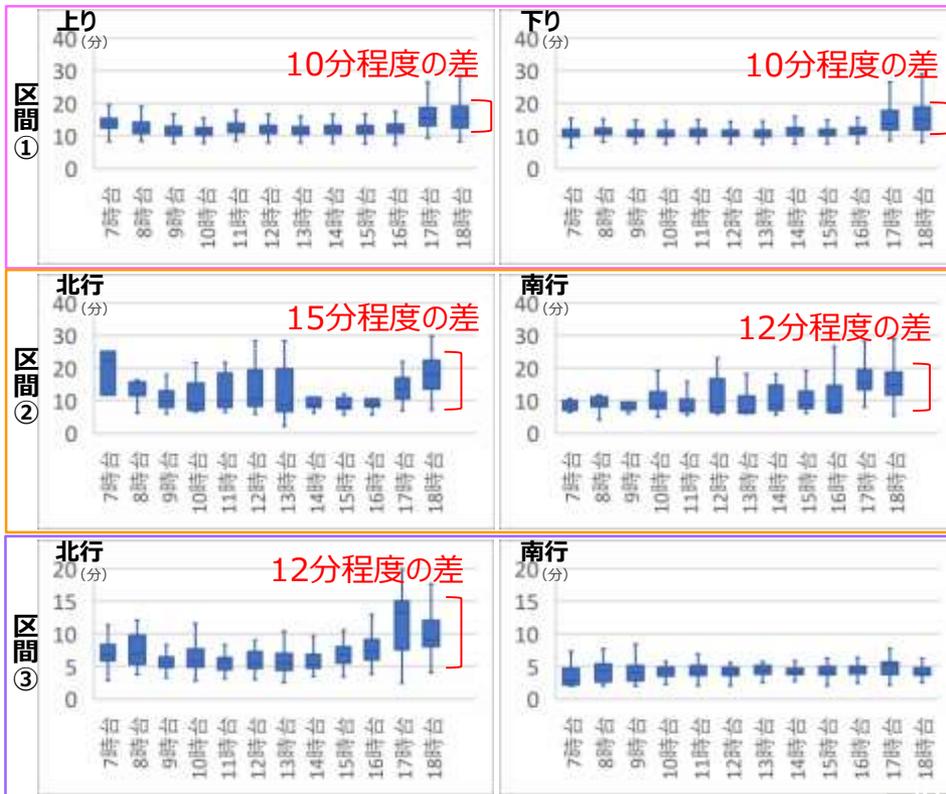
・公園周辺3区間については、特に国道1号にアクセスする区間②・③で定時性が低い。また、区間①国道1号についても夕方において定時性が低い状況にある。

・草津市バス停
バス平日平均便数(本/日)
— 1 - 50
— 50 - 100
— 100 - 150
— 150 - 300
— 300 - 350

▼バス運行本数と検証区間



資料: ETC2.0プローブデータ(2021年10月)



3. 現状(問題点)

(3) 交通・交流

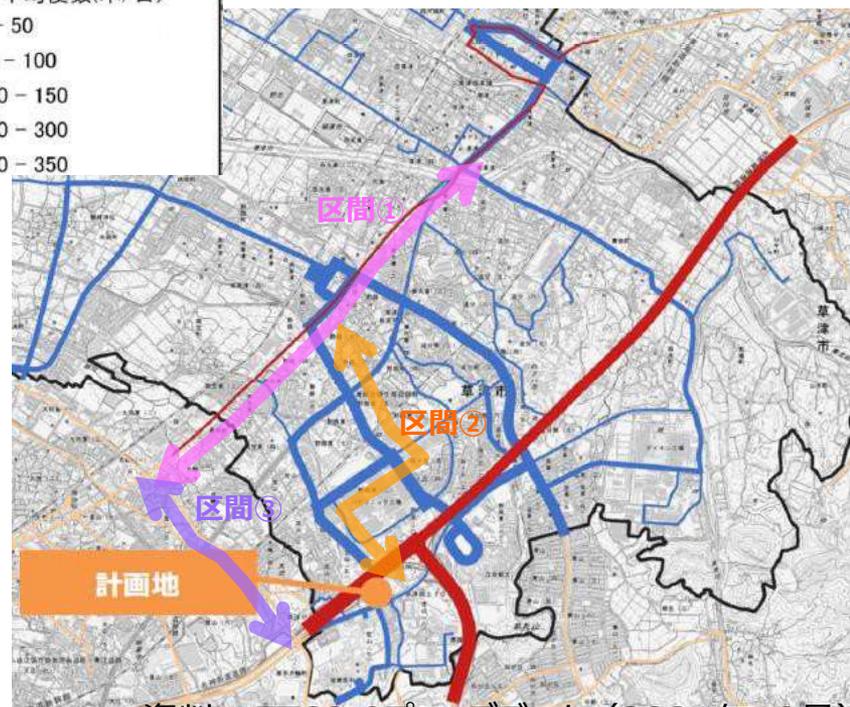
◇朝夕を中心に道路渋滞によりバスの**定時性が損なわれ**、サービス水準の低下が生じている

<検証項目> び文都市エリアへのアクセスにおいて、定時性が損なわれている（休日）

- ・休日にも同様にアクセスルート上の定時性が低く、それら区間を運行するバス路線の定時性が損なわれている。
- ・国道1号については、午後においては平日よりも定時性が低い状況となっている。

・草津市バス停
バス平日平均便数(本/日)
— 1 - 50
— 50 - 100
— 100 - 150
— 150 - 300
— 300 - 350

▼バス運行本数と検証区間



資料：ETC2.0プローブデータ（2021年10月）



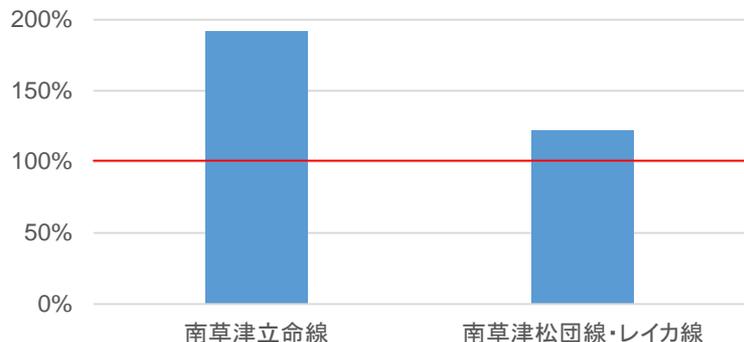
3. 現状(問題点)

(3) 交通・交流

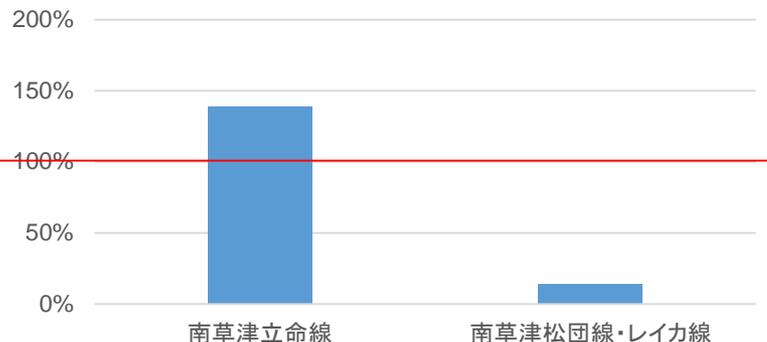
◇エリアへは複数の事業者によるバス路線が乗り入れているが、**需要に対して本数が限られており、バス車両内が混雑している**

・バス路線によっては座席数の倍程度が乗車するなど、混雑する時間帯もある。

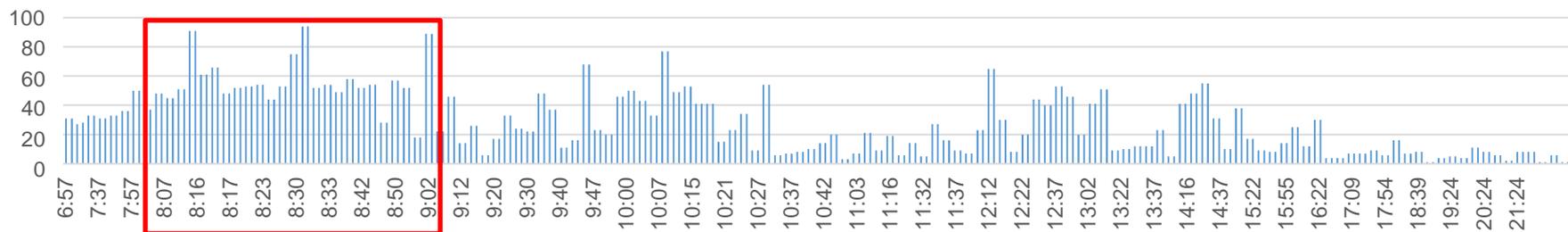
座席数対乗車率(8-9時)



座席数対乗車率(18-19時)



南草津立命線(駅発)の時間帯別乗客数



資料：近江鉄道バス (南草津立命線：2022/4/11、南草津松団線：2022/4/11・5/13・5/16～20の平均値)

※座席数は、一般各線バス27席、連接バス50席として計算

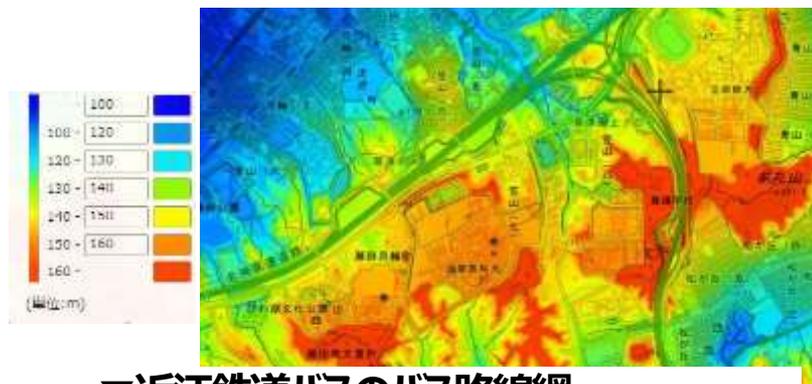
3. 現状(問題点)

(3) 交通・交流

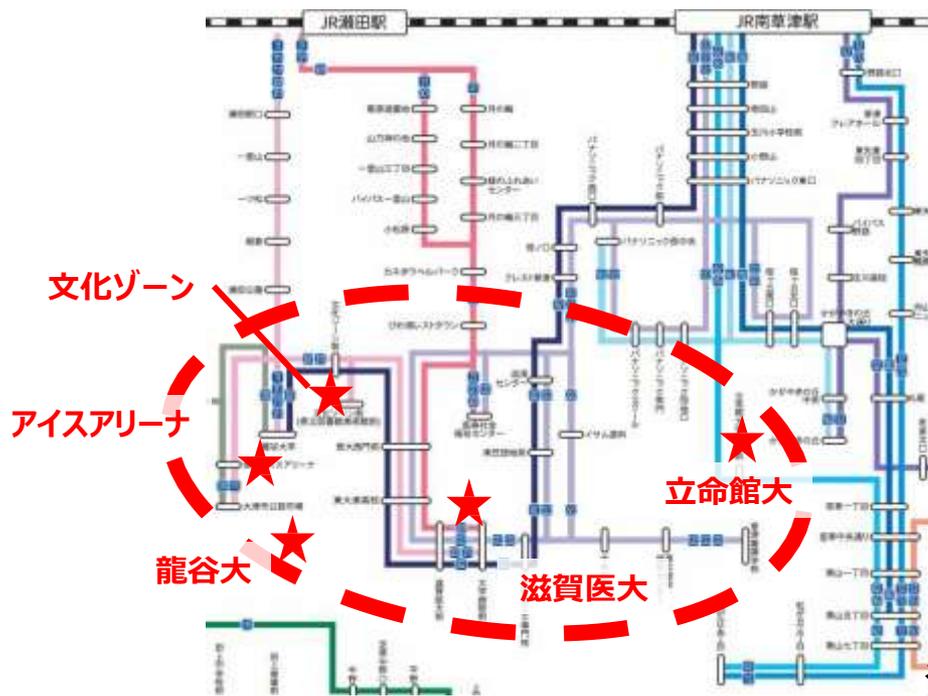
◇路線バスによるエリアの回遊がしにくい

- ・びわこ文化公園都市内には施設が分散し高低差もある状況。
- ・バス路線網をみると、エリア内を回遊するようなバスは少なく、施設間のアクセスが不足している。

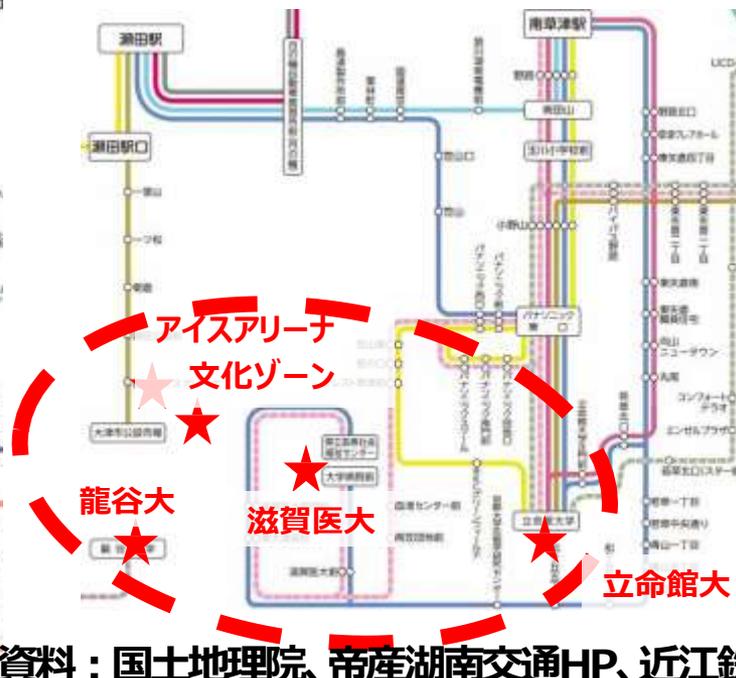
▼びわこ文化公園都市周辺の高低差



▼帝産湖南交通バスのバス路線網



▼近江鉄道バスのバス路線網



資料：国土地理院、帝産湖南交通HP、近江鉄道HP

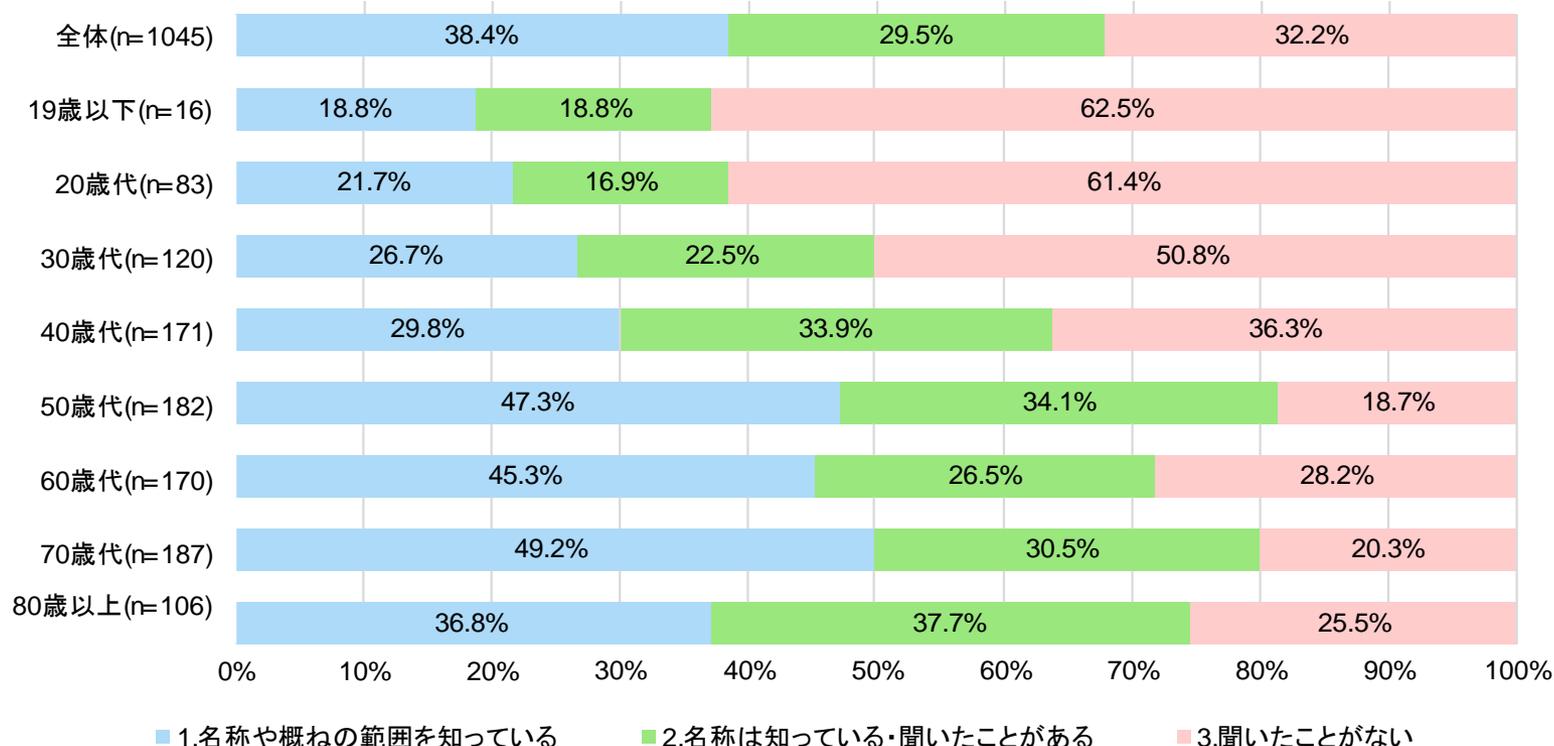
3. 市民の認知・利用状況

(1) 認知度・利用経験

◇若い世代ほどびわこ文化公園都市の認知度・利用経験が低い傾向

- ・市民アンケートでは、全体では約7割が「名称や概ねの範囲を知っている」「名称は知っている・聞いたことがある」と回答。
- ・特に若年層を中心に認知度は低く、30代以下は過半数が「聞いたことがない」と回答。

▼びわこ文化公園都市の認知度（年齢別）



資料：市民アンケート (R5.3)

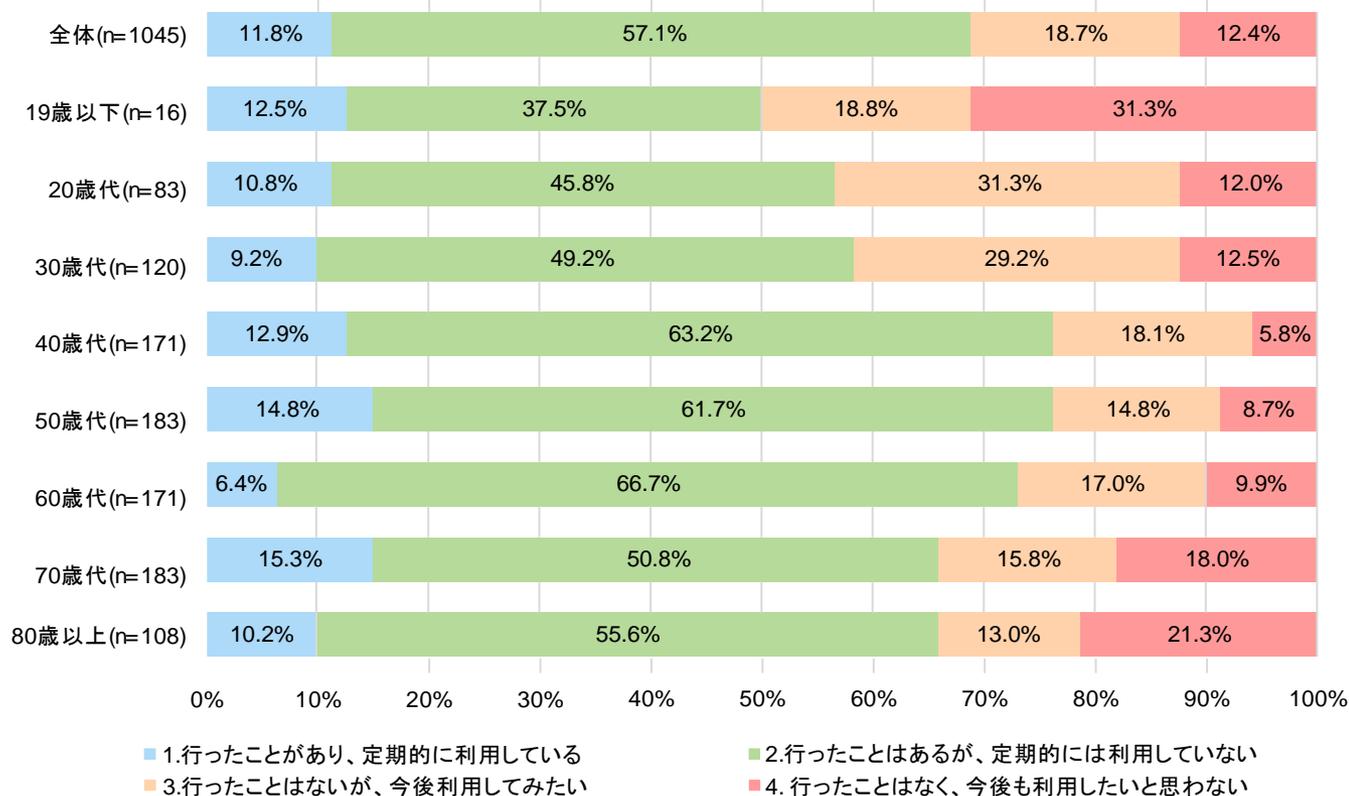
3. 市民の認知・利用状況

(1) 認知度・利用経験

◇若い世代ほどびわこ文化公園都市の認知度・利用経験が低い傾向

- ・全体では約7割が利用経験ありと回答。若い世代で利用経験がない方が多い傾向にある。
- ・全体的に認知度と比較すると利用経験ありの割合の方が高く、利用経験がびわこ文化公園都市としての認知につなげていない状況がうかがえる。

▼びわこ文化公園都市の利用経験（年齢別）



資料：市民アンケート (R5.3)

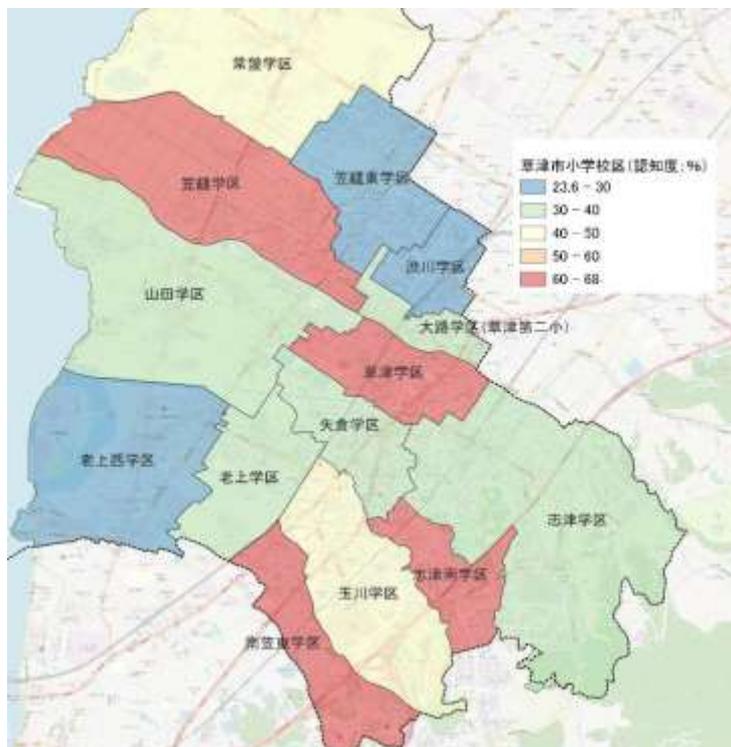
3. 市民の認知・利用状況

(1) 認知度・利用経験

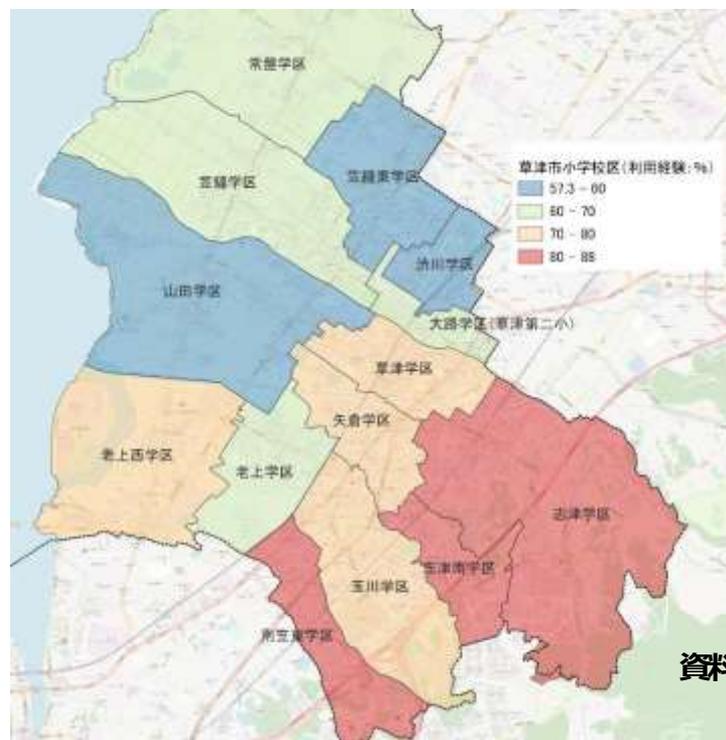
◇びわこ文化公園都市から距離のあるエリアでは利用経験が少ない傾向

- ・びわこ文化公園都市に近いエリアでは、比較的認知度が高く、利用経験が多い傾向にある。
- ・一方で、びわこ文化公園都市から距離のあるエリアでは、比較的利用経験が少ない傾向にある。

▼びわこ文化公園都市の認知度



▼びわこ文化公園都市の利用経験



資料：市民アンケート (R5.3)

※「名称や概ねの範囲を知っている」と回答した割合

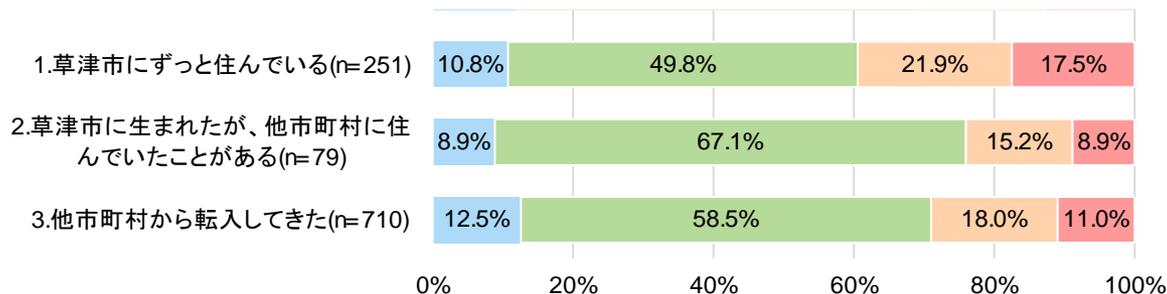
3. 市民の認知・利用状況

(1) 認知度・利用経験

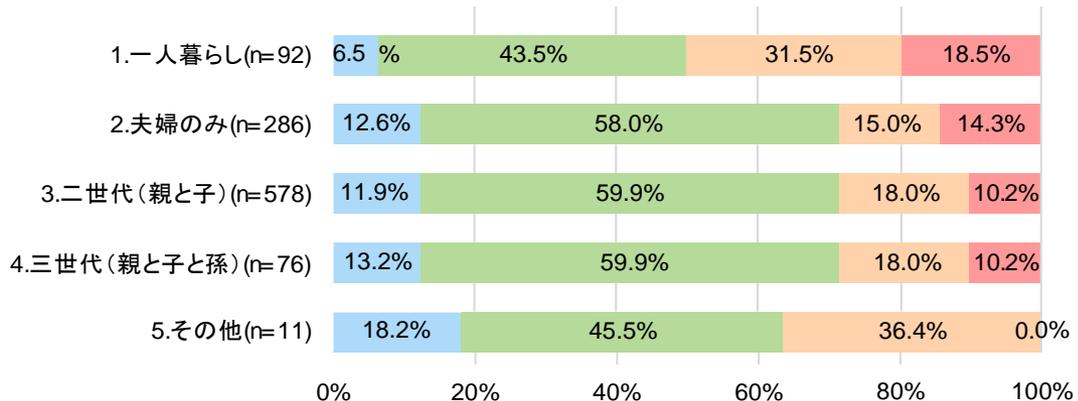
◇草津市にずっと住んでいる方や一人暮らしの方は利用経験が少ない傾向

- ・草津市にずっと住んでいる方よりも、転入・転出歴のある方で利用経験のある方が多い傾向にある。
- ・家族構成別には、一人暮らしの方の利用経験が少ない傾向にある。

▼びわこ文化公園都市の利用経験（居住歴別）



▼びわこ文化公園都市の利用経験（家族構成別）



- 1. 行ったことがある、定期的に利用している
- 2. 行ったことはあるが、定期的には利用していない
- 3. 行ったことはないが、今後利用してみたい
- 4. 行ったことはなく、今後も利用したいと思わない

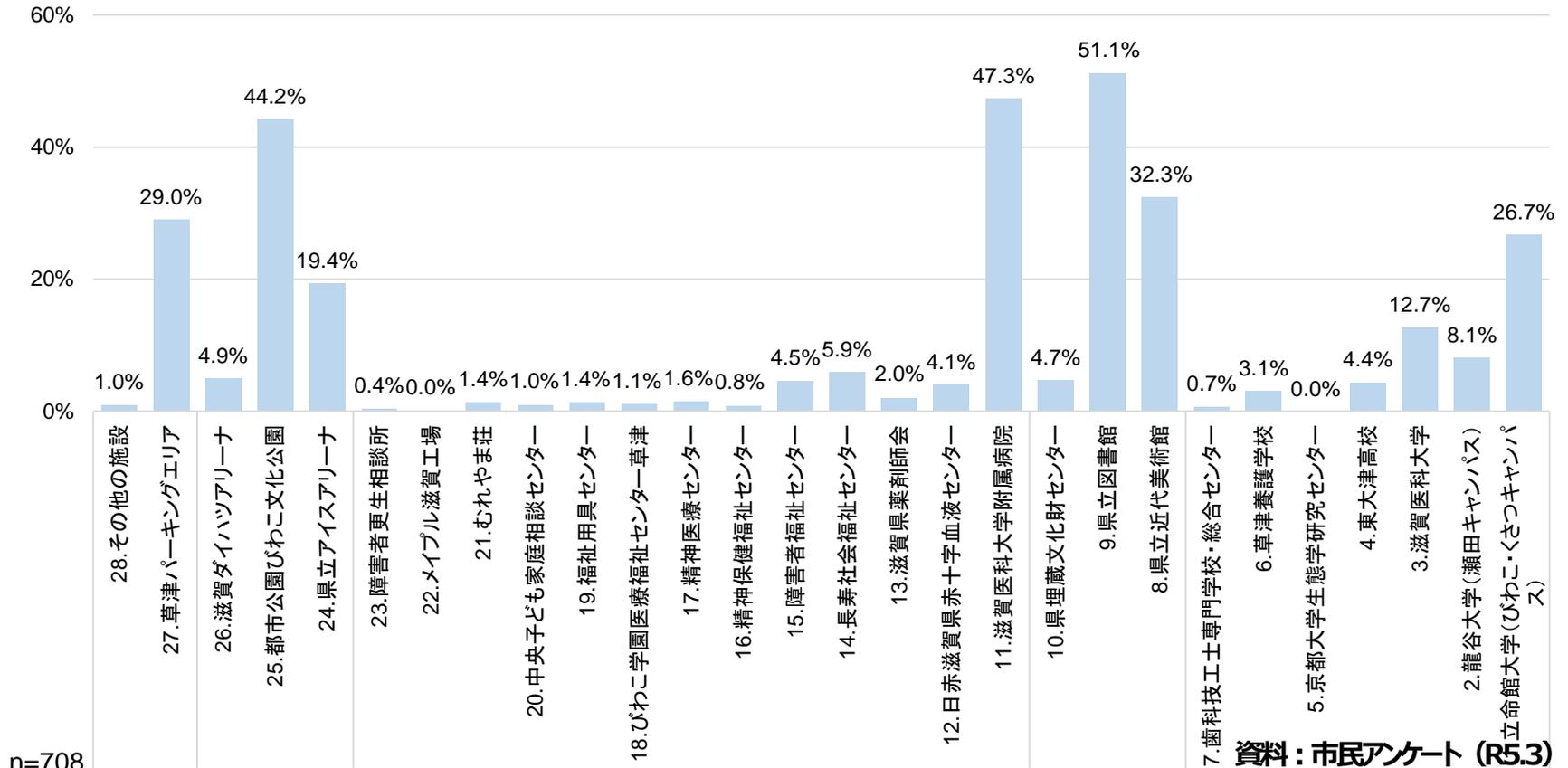
資料：市民アンケート (R5.3)

3. 市民の認知・利用状況

(2) 利用施設

◇市民の利用は、県立図書館やびわこ文化公園、滋賀医大病院、近代美術館等が多い

・市民による利用は、県立図書館が最も多く、次いで滋賀医大病院、びわこ文化公園、県立近代美術館、草津パーキングエリア、立命館大学と続いている。



資料：市民アンケート (R5.3)

n=708

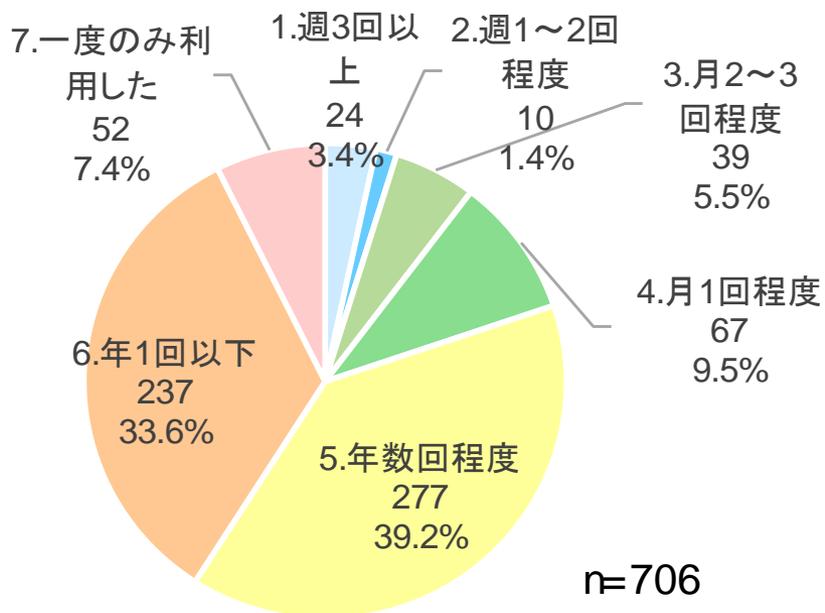
3. 市民の認知・利用状況

(3) 利用頻度

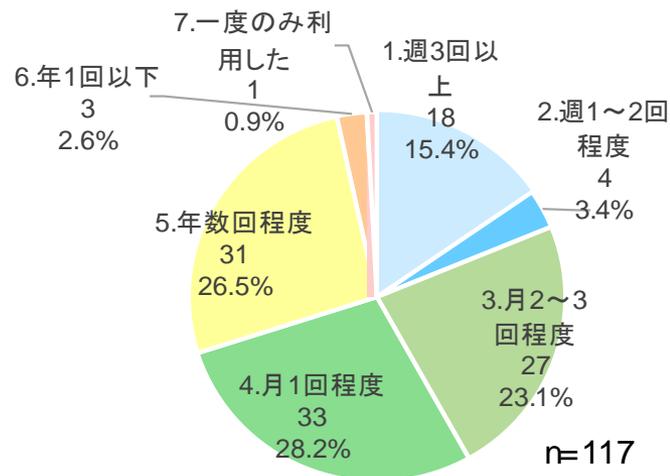
◇ 利用頻度が少ない

- ・利用頻度は、「年数回程度」「年1回以下」が7割以上を占め、月1回以上の利用は2割程度にとどまる
- ・定期的に利用する方に限定しても、半数以上は月1回以下の利用である。

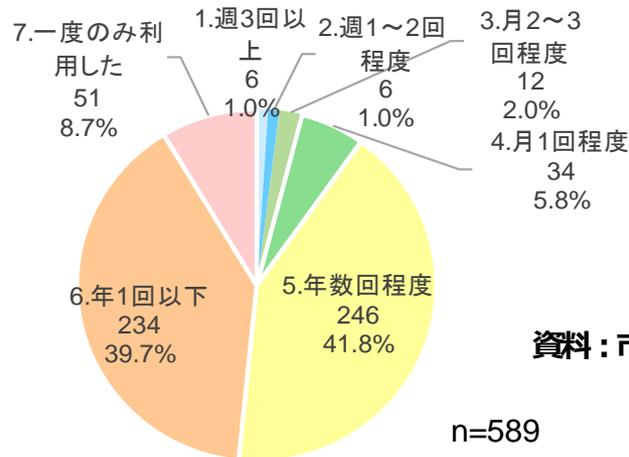
▼びわこ文化公園都市の利用頻度



▼利用頻度 (定期的に利用する方のみ)



▼利用頻度 (定期的に利用しない方のみ)



資料：市民アンケート (R5.3)

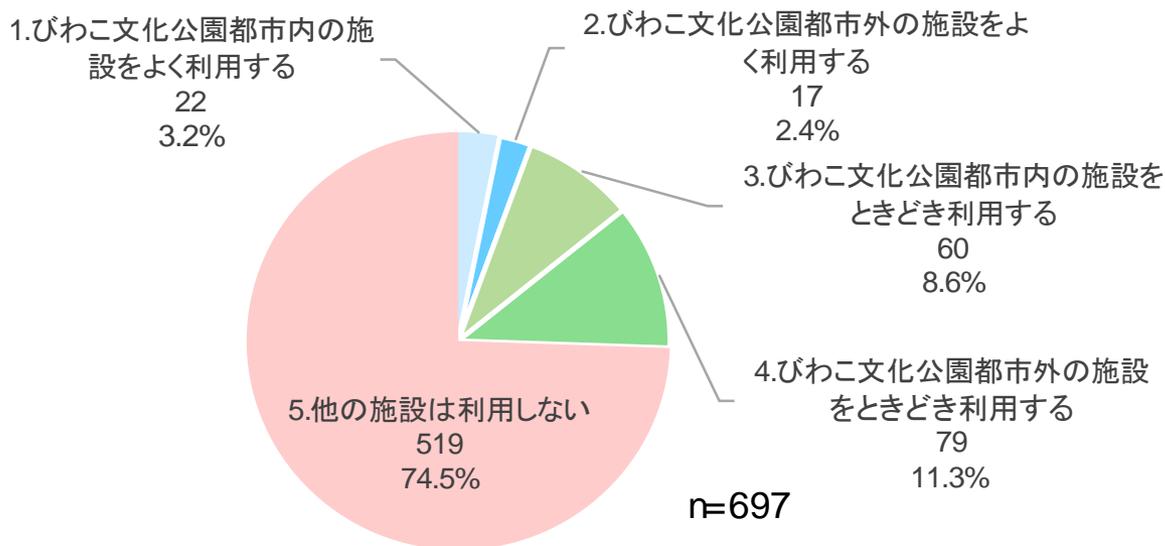
3. 市民の認知・利用状況

(4) 立ち寄りの有無、滞在時間

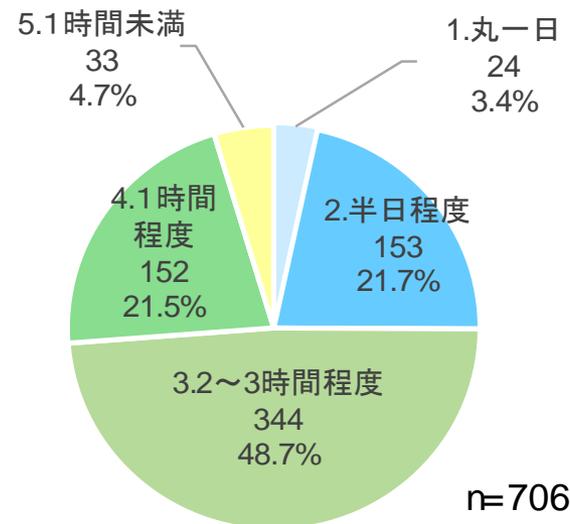
◇エリア来訪時の目的施設以外への立ち寄りが少なく、滞在時間が短い

- ・びわこ文化公園都市利用時の立ち寄りについて、「他の施設を利用しない」が大半を占め、びわこ文化公園都市内での立ち寄りは1割程度にとどまっている。
- ・滞在時間は、2～3時間以下が7割以上を占めるなど短くなっており、立ち寄りの動きが少ないことが影響していると考えられる。

▼びわこ文化公園都市利用時の立ち寄りの有無



▼滞在時間



資料：市民アンケート (R5.3)

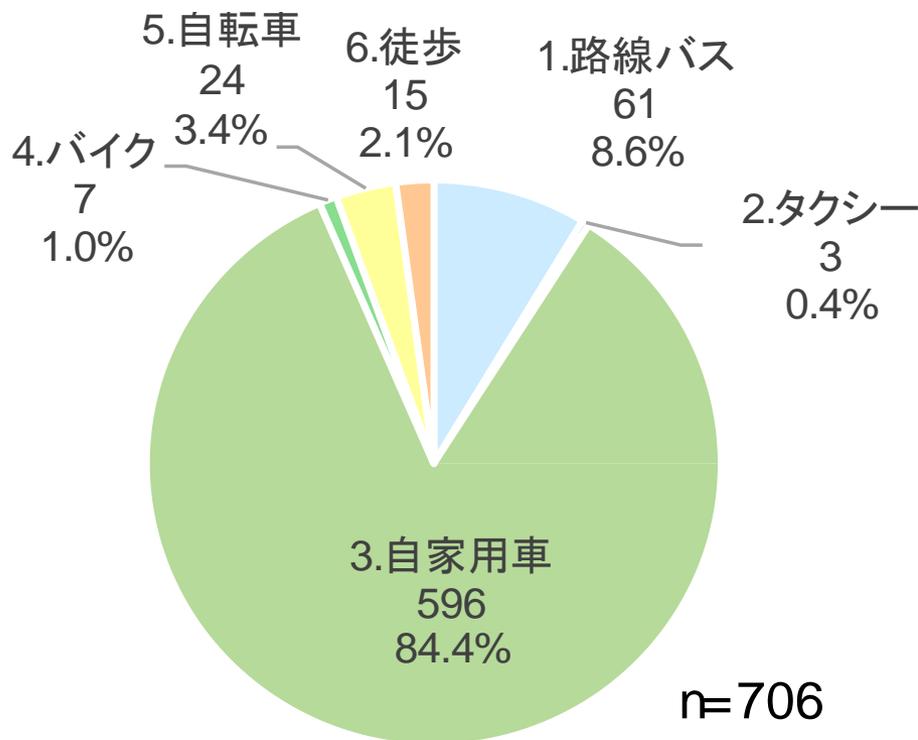
3. 市民の認知・利用状況

(5) 利用交通手段

◇ 利用交通手段は自家用車が大半を占める

・びわこ文化公園都市来訪時の利用交通手段は自家用車が8割以上を占め、路線バス利用は1割を下回っている。

▼ 来訪時の利用交通手段



資料：市民アンケート (R5.3)

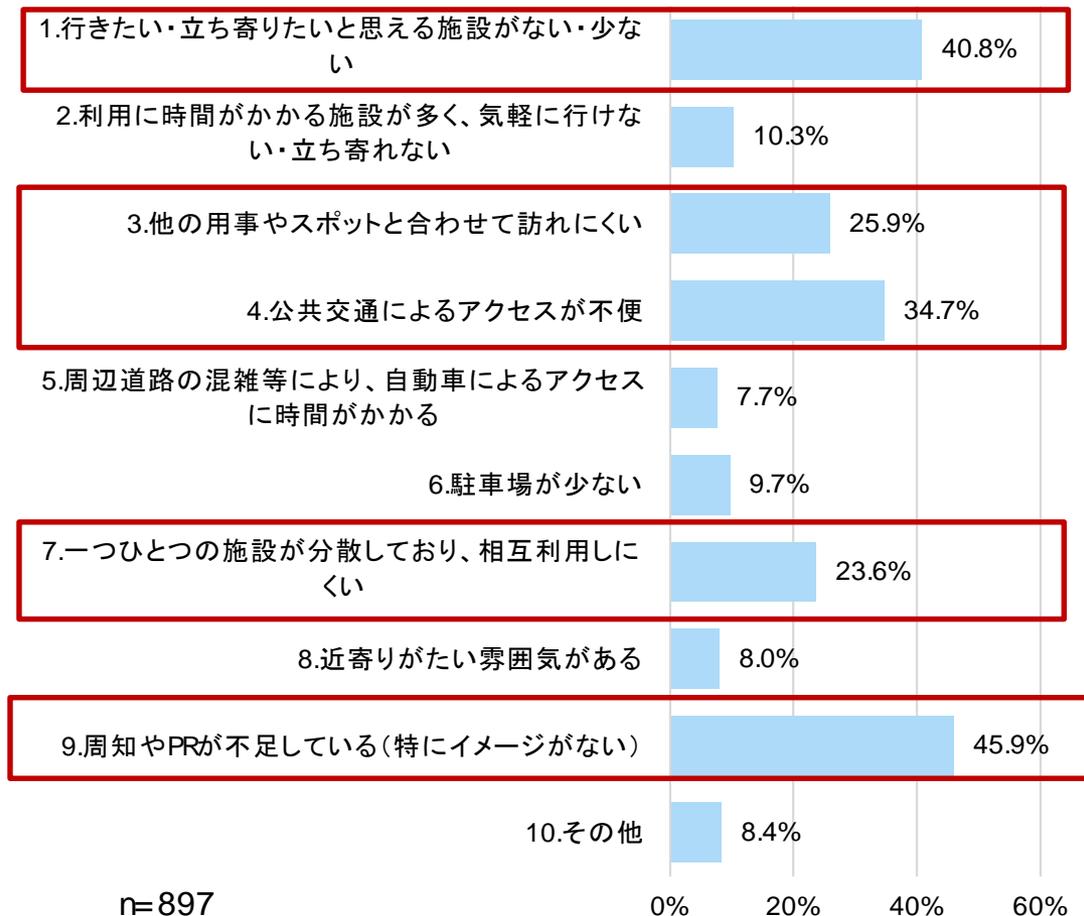
3. 市民の認知・利用状況

(6)びわこ文化公園都市の問題点

◆ニーズに合った施設が少なく、公共交通アクセスや回遊性に課題がある

- ・「行きたい・立ち寄りたいと思える施設がない・少ない」を挙げる方が多く、市民ニーズに合った施設が十分でない状況がうかがえる。
- ・公共交通アクセスの不便さ、相互利用のしにくさを挙げる声も多い。

▼びわこ文化公園都市の問題点



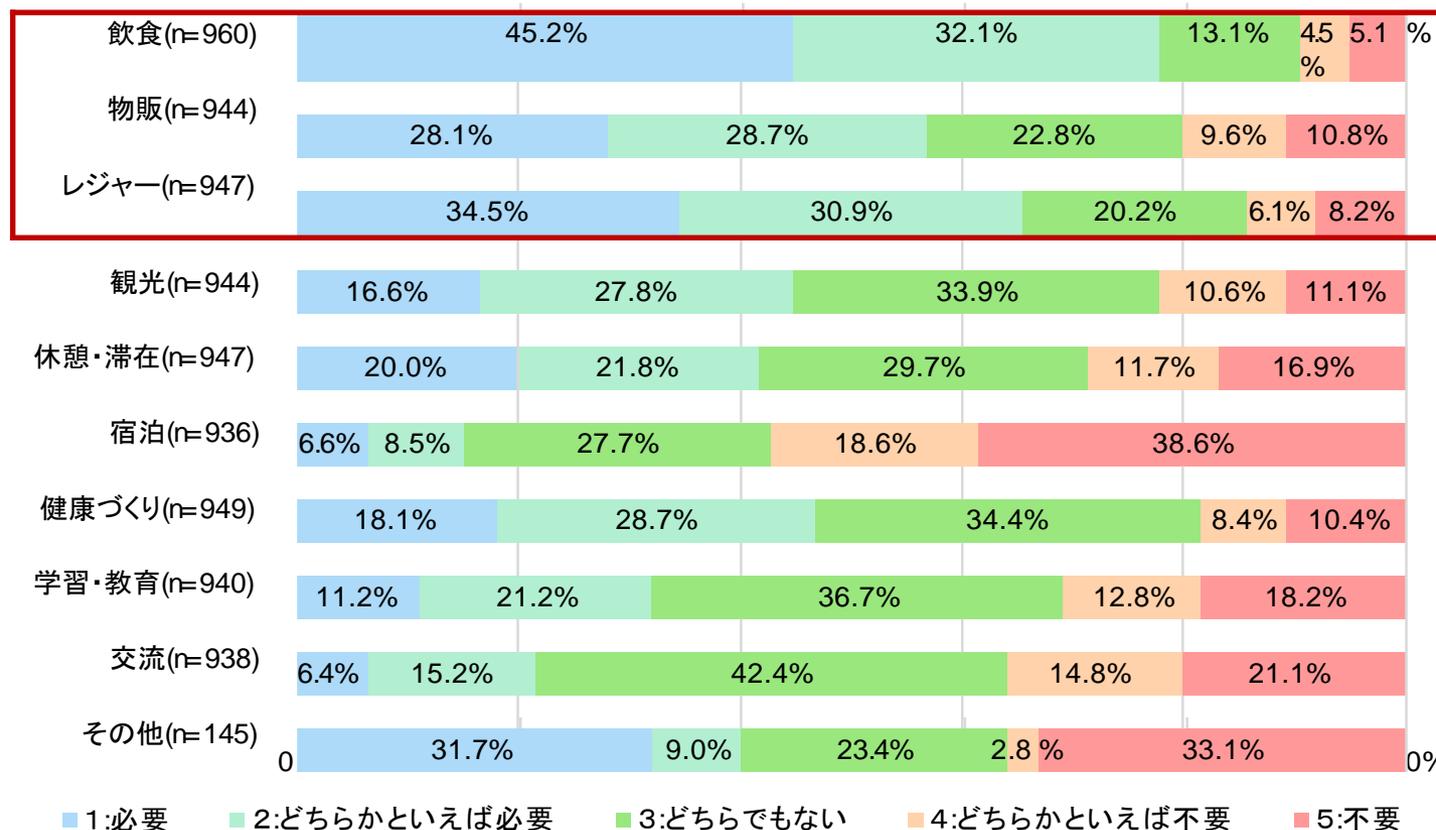
4. 機能のニーズ・アイデア

(1) にぎわい・活力

◇ 飲食、物販、レジャー等のニーズが比較的高い

・びわこ文化公園都市に必要な機能としては、「飲食」「物販」「レジャー」を挙げる声が多い。

▼びわこ文化公園都市に必要な機能



資料：市民アンケート (R5.3)

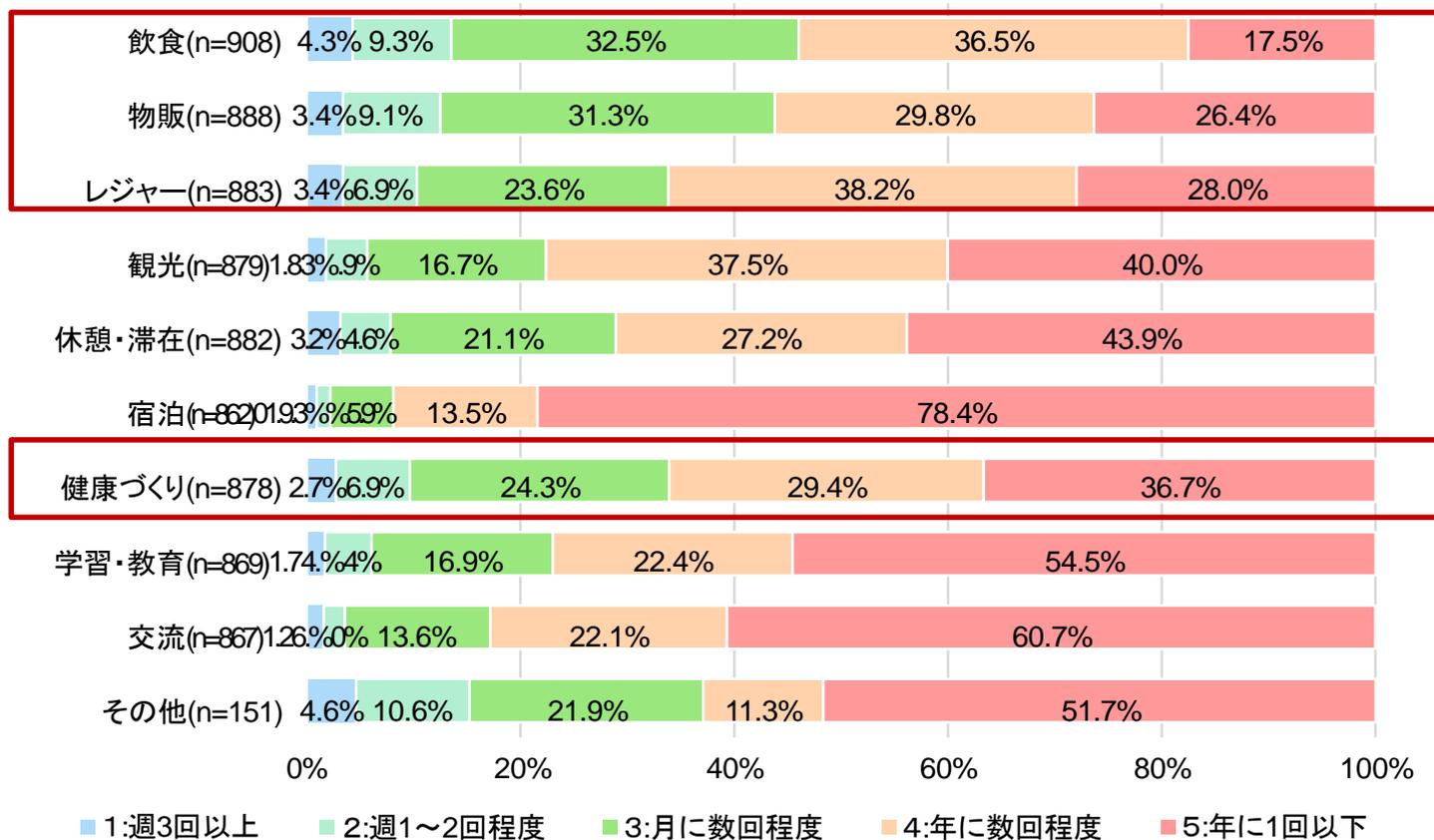
4. 機能のニーズ・アイデア

(1) にぎわい・活力

◇ 飲食、物販、レジャー等のニーズが比較的高い

・整備された場合の利用頻度としては、「飲食」「物販」「レジャー」「健康づくり」等で比較的高くなっている。

▼整備された場合の利用頻度



資料：市民アンケート (R5.3)

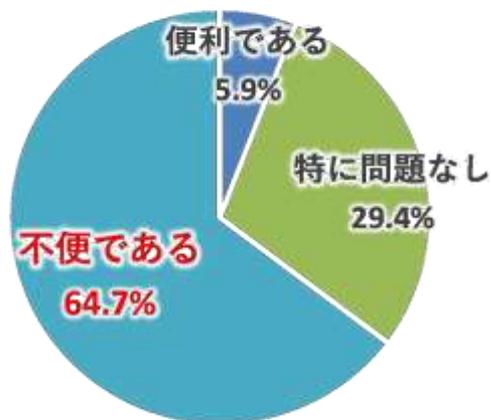
4. 機能のニーズ・アイデア

(1) にぎわい・活力

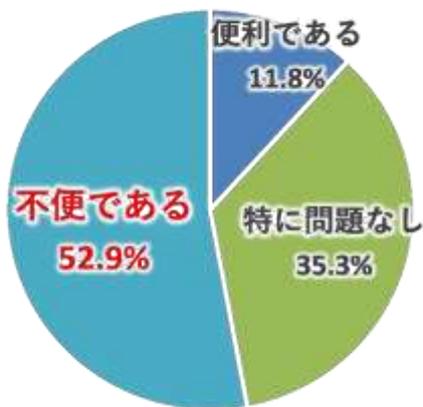
◆施設利用者からも飲食、物販等のニーズが高い

- ・施設の通勤・通学者に対しアンケート調査を実施（R3年度）
- ・飲食施設・物販施設が近くになく、約50%が「不便である」と回答。
- ・75%以上が「地域振興施設があると良い」と回答。

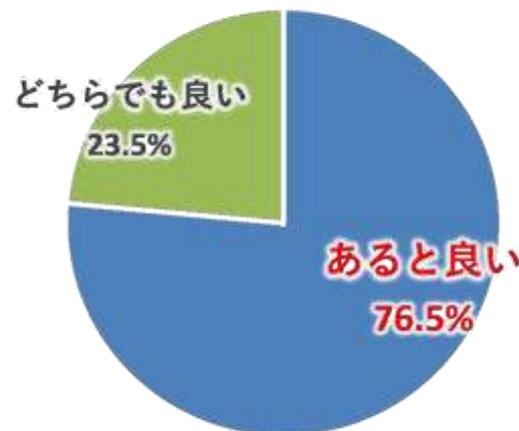
▼飲食施設の利便性



▼物販施設の利便性



▼地域振興施設ができることについて



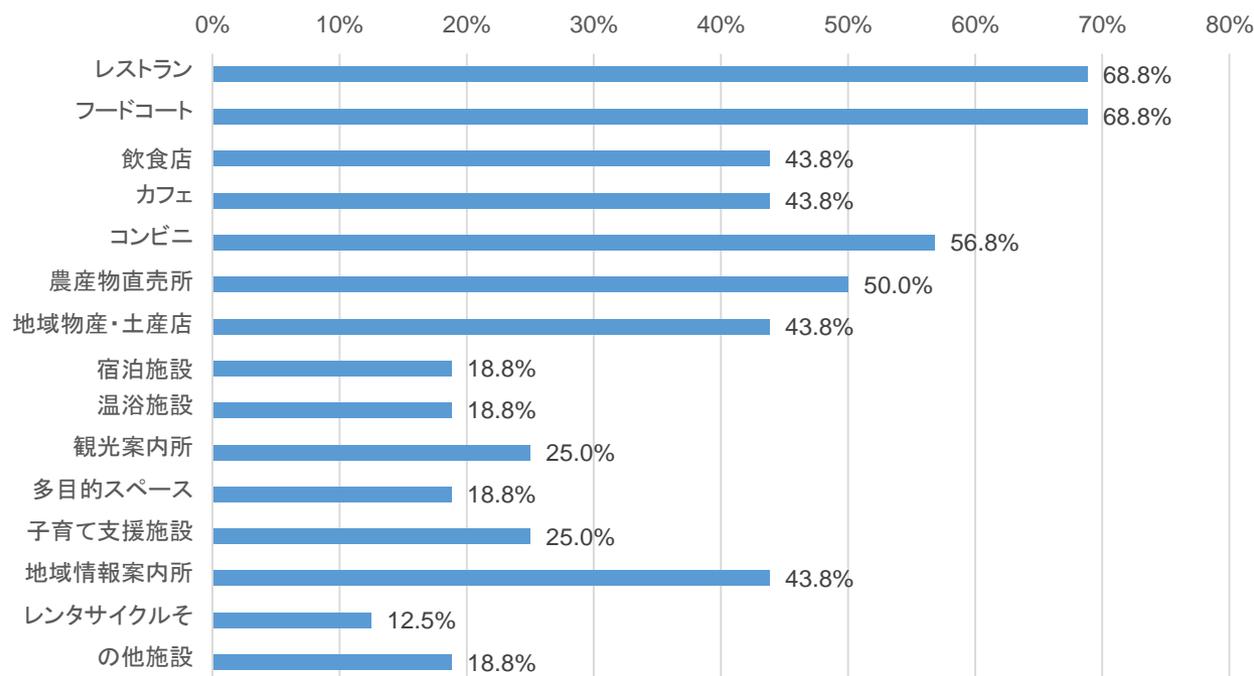
4. 機能のニーズ・アイデア

(1) にぎわい・活力

◇施設利用者からも飲食、物販等のニーズが高い

- ・施設の通勤・通学者に対し、ニーズを把握するためのアンケート調査を実施（令和3年度）
- ・飲食や物販、地域情報案内所等のニーズが高くなっている。

▼どのような施設・機能があるとよいか



資料：びわこ文化公園都市内施設アンケート（R3）

4. 機能のニーズ・アイデア

(1) にぎわい・活力

◇学生WSでは、**飲食や温浴、宿泊、アウトドア、休憩等**の意見が多い

▼学生WS・導入機能のアイデア（1/2）

分類	対応方針	導入機能のイメージ
飲食	B-1グランプリフェス	長時間滞在でき、遠方からでも参加しやすいご当地グルメ屋台・音楽フェス
	はちみつのテーマパーク	蜂蜜・養蜂の博物館、蜂蜜商品の販売、カフェ、文化公園内での養蜂
	カフェ	地元の野菜の販売、各県の有名店の支店
	琵琶湖の魚の展示・飲食	家族連れをターゲット
	コンセプト特化型飲食コンプレックス	
温浴	温泉・スターバックス	長距離ドライバーの休憩地・運動後のリフレッシュになる温泉施設、文化公園都市になじみ勉強もできるカフェ
	・24時間営業の温泉 ・スーパー銭湯 ・温泉・サウナ・岩盤浴	・24時間営業でリーズナブルな温泉 ・日帰り温泉施設 例：刈谷ハイウェイオアシス ・旅行帰りに立ち寄れる温泉・サウナ・岩盤浴施設
	足湯	無料の足湯＋有料タオル貸し出し (短時間利用可、男女別にならない、低コスト)
宿泊	・カプセルホテルを中心とした複合施設 ・カプセルホテル	・カプセルホテル、大浴場（サウナを充実）例：京田辺PA ・机、コンセント、無料Wi-Fiがあり勉強もできるカプセルホテル
漫画・アニメ	キャラクターの銅像・関連グッズ等	ROOKIES作者の出身地であるため、キャラクター銅像設置やグッズ販売、キャッチボールエリア設置等
学習	産学官連携による体験型学習イベント	イベント会場（小学生の一時預かり・研究拠点）、会議室、飲食店、スーパー ※学生が学童支援員アルバイトとして企画・運営

資料：学生ワークショップ（立命館大学・龍谷大学）

4. 機能のニーズ・アイデア

(1) にぎわい・活力

◇学生WSでは、**飲食や温浴、宿泊、アウトドア、休憩等**の意見が多い

▼学生WS・導入機能のアイデア（2/2）

分類	対応方針	導入機能のイメージ
休憩・自習	<ul style="list-style-type: none"> ・集中できる空間 ・24時間利用可の多機能リラックススペース ・ネットカフェ 	<ul style="list-style-type: none"> ・Wi-Fi、コンセント、ドリンクバー、手頃な軽食などの販売、仮眠スペース ・マッサージ機、コーヒーマシン、簡易カフェ・ソファ席、飲食自販機
アウトドア	キャンプ場、グランピング施設	—
	遊園地	目印となる遊具、琵琶湖の景観と掛け合わせた「映え」、アトラクションは大学と協力して製作 例：刈谷ハイウェイオアシス
	室内アスレチック施設	天候や季節の影響を受けない、VR等も活用したSNS映えするアスレチック施設（室内とすることで六甲山アスレチックパークと差別化）
公園＋商業	公園を囲む商業施設	レストラン・カフェ、ショップ（衣服、セレクトショップ）、特産品出店、公園・広場 例：グリーンスプリングス
	滋賀県の花や食材を使用した オリジナリティのある公園	季節のイベント、お花畑・紅葉、イルミネーション、キッチンカーやカフェ
道の駅	草津宿を再現した 街角タイムスリップができる道の駅	草津宿の町並みを再現した、カフェ、パン屋、銭湯、直売所、地産地消レストラン、チャレンジショップ、ドッグラン、駐車場（100台程度）
他	<ul style="list-style-type: none"> ・映画館 ・目に留まるランドマーク ・フォトスポット 	

資料：学生ワークショップ（立命館大学・龍谷大学）

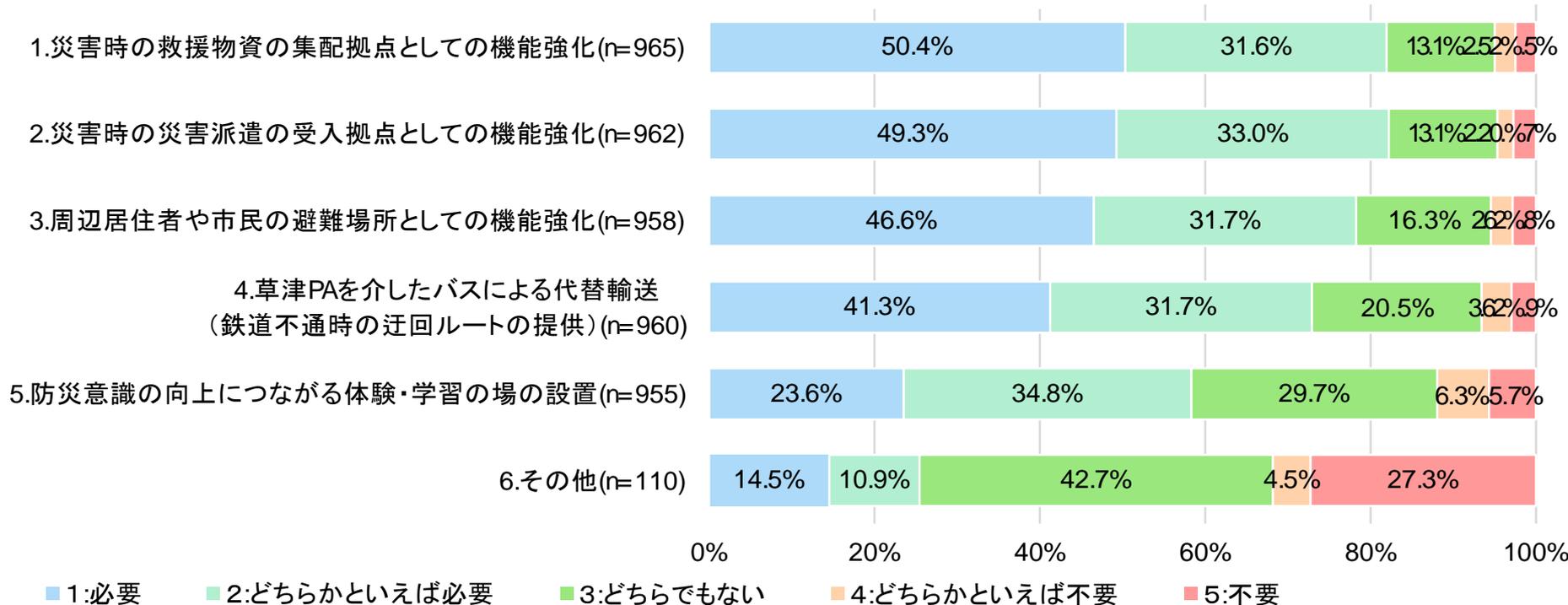
4. 機能のニーズ・アイデア

(2) 安心・安全、防災

◇防災拠点機能の強化、バスによる代替輸送のニーズは高い

・整備された場合の利用頻度としても、「飲食」「物販」「レジャー」等で比較的高くなっている。

▼防災に関する取組であると良いもの



資料：市民アンケート (R5.3)

4. 機能のニーズ・アイデア

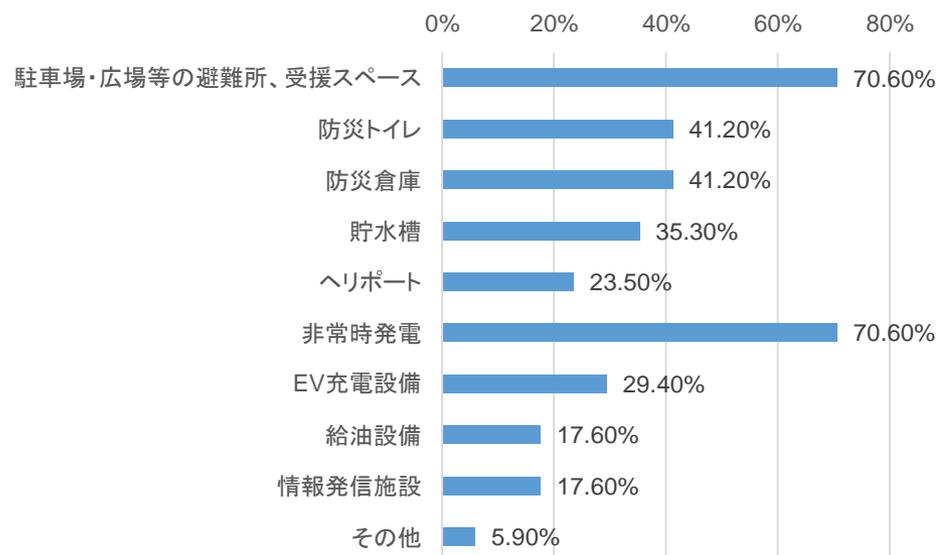
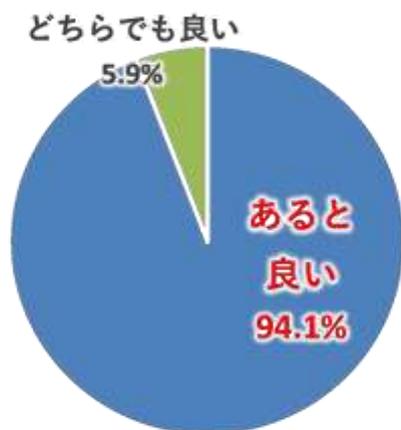
(2) 安心・安全、防災

◆施設利用者からも、防災施設のニーズが高い

- ・施設の通勤・通学者に対し、ニーズを把握するためのアンケート調査を実施（令和3年度）
- ・90%以上が、「防災施設があると良い」と回答。
- ・求める機能・施設として、「駐車場・広場等の避難所、受援スペース」、「非常時発電」が最も多く、防災トイレ、防災倉庫、貯水槽、EV充電設備、ヘリポート等、幅広い施設に対する整備が期待されている。

▼防災施設としてどのような機能・施設があると良いか

▼防災施設ができることについて



4. 機能のニーズ・アイデア

(2) 安心・安全、防災

◇学生WSでは、**体験型防災センター**の意見があった

・学生WSでの意見として、防災拠点機能に加えて、地震体験、防災グッズやハザードマップの紹介等を行う体験型防災センターの意見があった。

▼学生WS・導入機能のアイデア

対応方針	導入機能のイメージ
体験型防災センター	応急復旧活動の展開拠点、救援物資の輸送拠点、ドローン基地 地震体験、防災グッズやハザードマップの紹介、防災・減災におけるICT活用事例の紹介

4. 機能のニーズ・アイデア

(3) 交通・交流

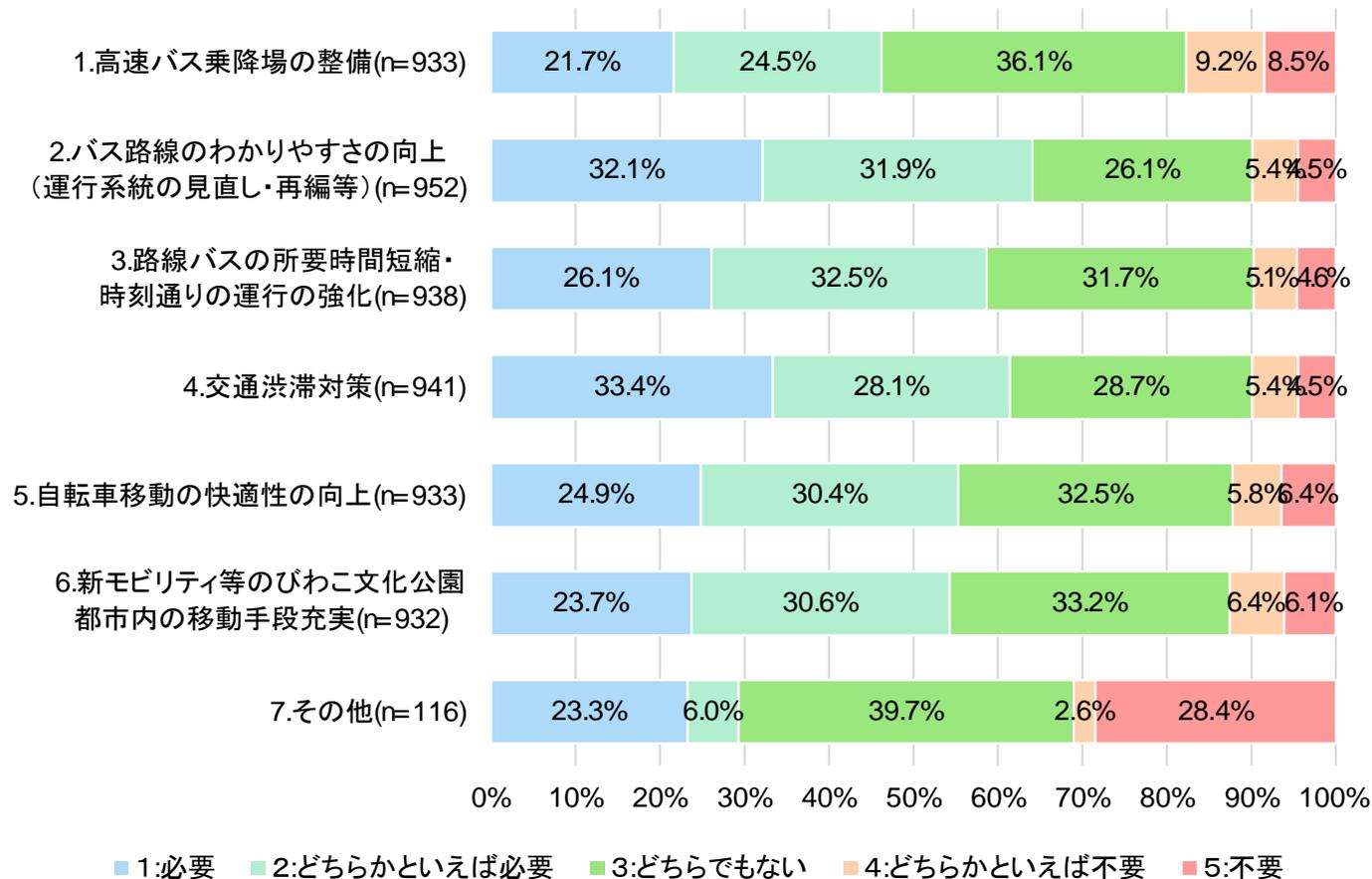
◇ 渋滞対策や、バス路線の分かりやすさ・定時性向上等を求める声が多い

・市民アンケートでは、交通に関する取組として、「交通渋滞対策」や「バス路線の分かりやすさの向上」を挙げる声が多い。

・路線バスの所要時間短縮や定時性の向上、自転車移動の快適性向上、びわこ文化公園都市内の移動手段充実についても、半数以上が必要と回答している。

・高速バス停の整備についても、半数弱が必要と回答している。

▼交通に関する取組で期待するもの



資料：市民アンケート (R5.3)

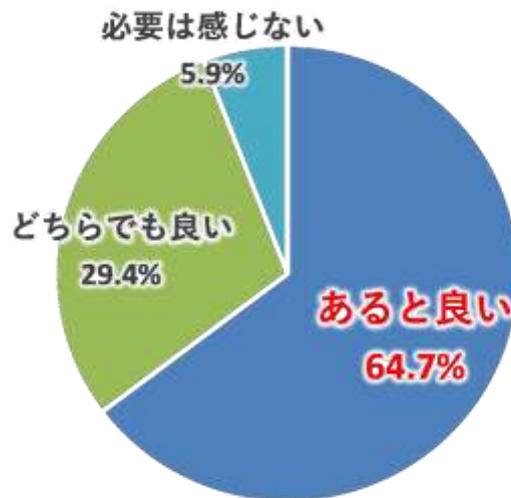
4. 機能のニーズ・アイデア

(3) 交通・交流

◇施設利用者からもバスターミナルのニーズは高い

- ・施設の通勤・通学者に対し、ニーズを把握するためのアンケート調査を実施（令和3年度）
- ・6割以上が、バスターミナルができることについて、「あると良い」と回答。

▼バスターミナルができることについて



4. 機能のニーズ・アイデア

(3) 交通・交流

◇学生WSでは、バス路線新設やバスタ等の意見があった

・学生WSでの意見として、観光地や空港等へのバス路線新設や、商業施設と併設したバスタ等の意見があった。

▼学生WS・導入機能のアイデア

分類	対応方針	導入機能のイメージ
バス新設	観光地に直通するバス路線の新設、 観光客の足を確保	新草津BCに昼行高速バスを乗り入れ 新草津BCから烏丸半島、イオン・浜大津へ直通路線運行
	夜行バス	(すぐに旅行に行けてよい)
	高速バス 空港直結バス	琵琶湖線が止まっている際の京阪神方面のバス 伊丹空港、関西国際空港行きのバス
バスタ	高速 + 路線バスタ 観光拠点	バス経由地 + 飲食店、休憩所からなる観光拠点
	草津PAと道の駅を繋ぐ	PA接続型スマートIC、ファストフード店、高速バス駐車場 バスタ、マルシェ (バス時刻まで時間をつぶせる)